

# SUPERMARINE SPITFIRE Mk. VI

## S19 1:32 スーパーマリン スピットファイア Mk. VI

Hasegawa  
Hobby kits



完成写真

### 《スーパーマリン H.F. 6 高々度戦闘機》

ビッカース・アームストロング社スーパーマリン製作所で開発されたスピットファイア大家族のうち、H.F. Mk. 6 高々度戦闘機は、F. Mk. 5 B戦闘機を基準として主翼の両端を延長、エンジンを高空用に換装、気密与圧操縦席を設けて、原型は1941年6月に初飛行した。この型の工場名称はスーパーマリン・タイプ350、公称名はH.F. Mk. 6、のちにMk. を略してH.F. 6 と呼んだ。Hは高空用、Fは戦闘機を表わす。スピットファイアにはこのほかにL.F. 低空戦闘機、P.R. 写真偵察機、F.R. 戦闘偵察機、F.B. 戦闘爆撃機などがある。

また主翼は、初期の型に広く用いられた「基準翼」(全幅11.23m)と、両翼端を延長した「延長翼」または「とんがり翼」(全幅12.24m)、および両翼端を切断した「切断翼」(全幅9.80m)の3種があり、さらに後期には「新型翼」(全幅11.25m)があった。

H.F. 6 は「延長翼」をとりつけた最初のスピットファイア高々度戦闘機で、100機が生産され、1942年から43年にかけて、おもにドイツ空軍のユンカースJu86P 双発高々度偵察機を狙って活躍した。配置された部隊は、第118、124、521、602および616各戦闘機中隊である。活躍の舞台は、スカパ・フロー、フォース湾、テムズ河口などの防衛を主とし、ほかに少数機がスエズ運河地区の防衛のために、中東に送られた。

H.F. 6 のエンジンは、特に高圧過給機をとりつけたロールス・ロイス マーリン47または49液冷式V型12気筒1,415馬力で、プロペラ

はF. Mk. 5 まではすべて3翅であったのに対して4翅になり、わずかに前方に長いプロペラ・スピナーをとりつけた。

操縦席の前後には気密隔壁が設けられ、風防は特殊な気密式で、Mk. 5 にくらべて風防後方透明部の枠が追加されている。気圧の調整にはマーシャル9A圧縮機が使われ、実用上昇限度はMk. 5 の11,280mに対して12,190mに向上した。

しかし結果的には、与圧装置と気密室による重量増加、およびエンジン出力の不足などのため、実際の性能は、はじめの予定よりも低く、あらためて、より強力なエンジンを使って、開発を続けることになった。これがH.F. 7で、原型は1942年4月に初飛行、マーリン61 1,520馬力つきで、実用上昇限度13,410mとなった。この型はH.F. 6 よりも機首が長くスマートな感じになり、垂直尾翼の背が高く尖った形になって、尾輪が引込式になった。また左翼下のオイル・クーラーの横に中間ラジエーターが追加されて、外観上、左右同じ大きさのラジエーターがついた。排気管も片側6個のマルチ・エジェクター型になっている。生産機数は140機。

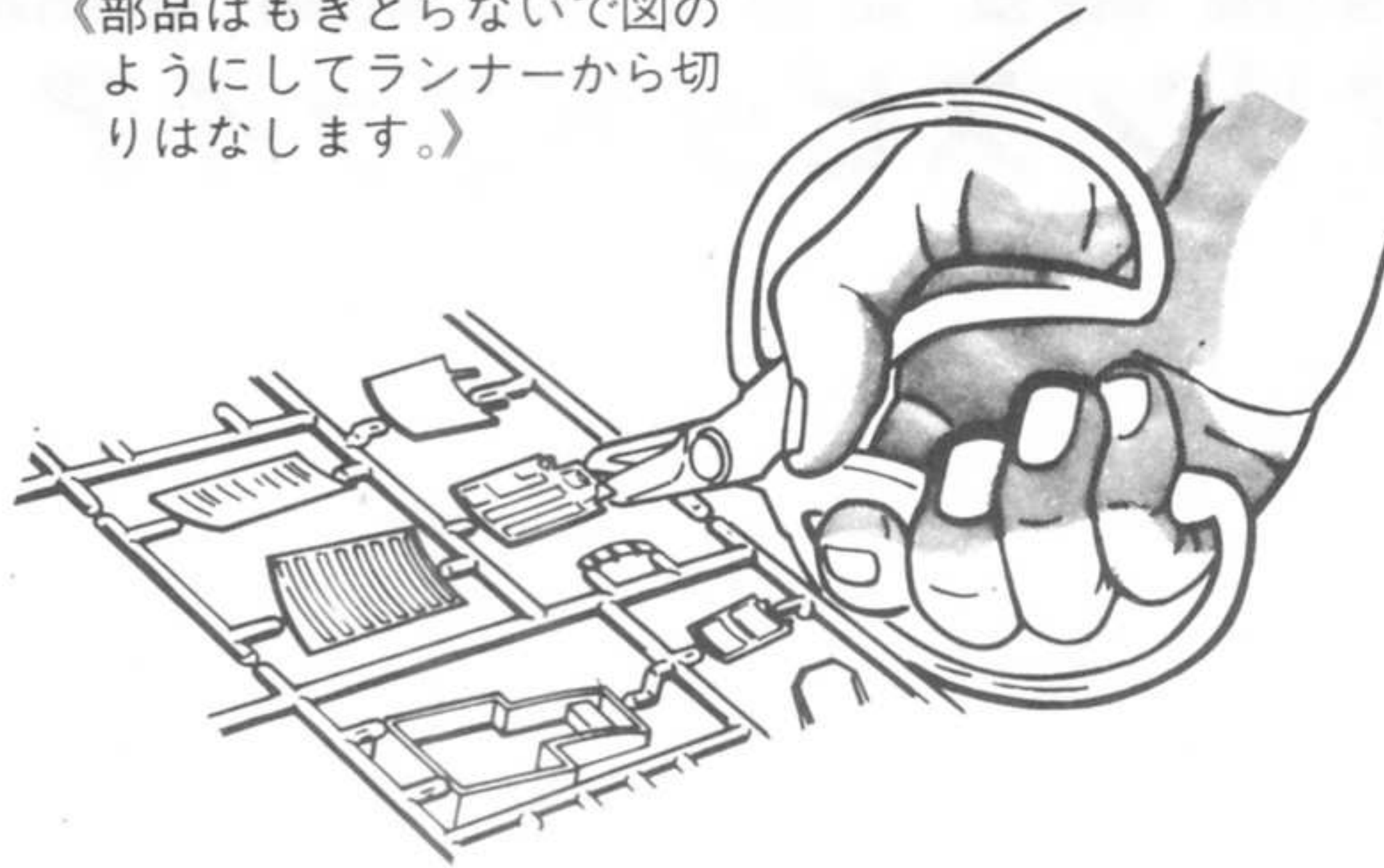
H.F. 6 のデータは、乗員 1名、マーリン47/49 1,415馬力、全幅 12.24m、実長 9.12m、主翼面積 23.0m<sup>2</sup>、全備重量 3,084kg、最大速度 586km/h(高度 8,535m)、高度6,100mまでの上昇時間 7分24秒、実用上昇限度 12,190m、航続距離 764km、武装 7.7mm機関銃×4、20mm機関砲×2。(解説・野沢 正)



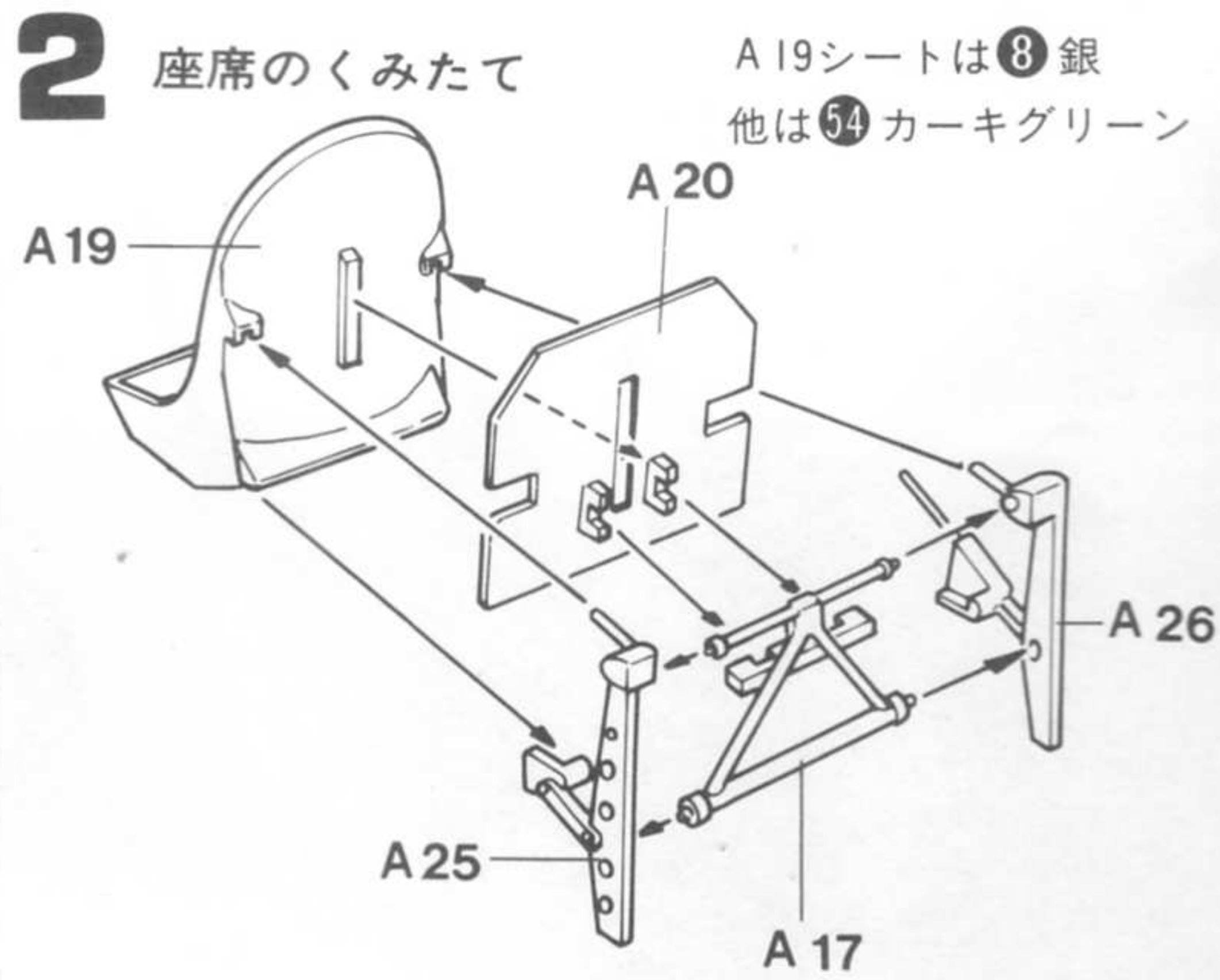
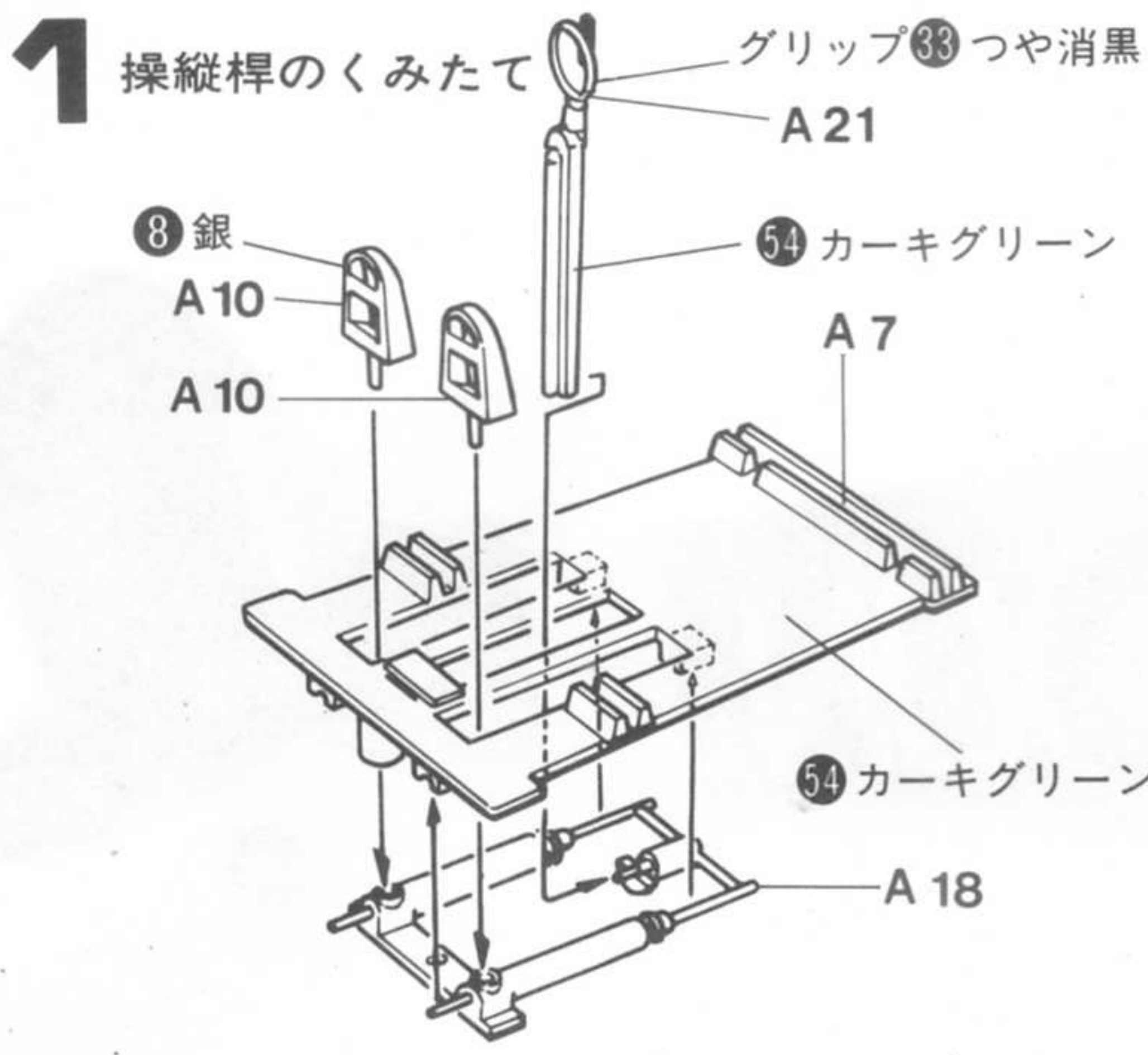
《くみたてるまえに》

- 説明書を一度全部読んでから、指示に従って製作してください。
- 部品をランナーから切りはなす時はニッパー又はカッターを使ってください。
- 接着剤は、組み立てる部品の両方に少しずつ塗って接着して下さい。

《部品はもぎとらないで図のようにしてランナーから切りはなします。》

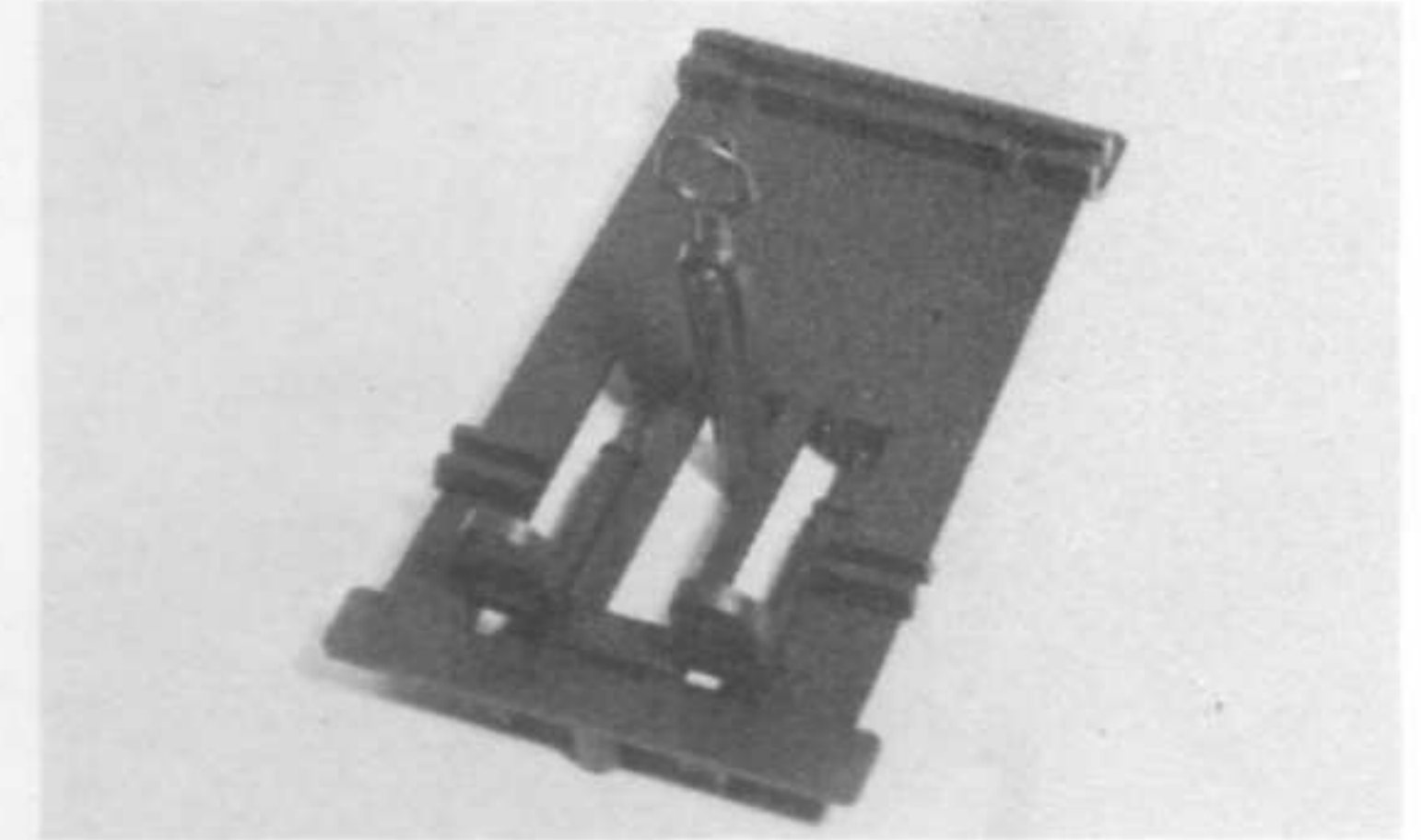


部品を取り出した空袋は幼児が被ったりしないように破り捨てして下さい。



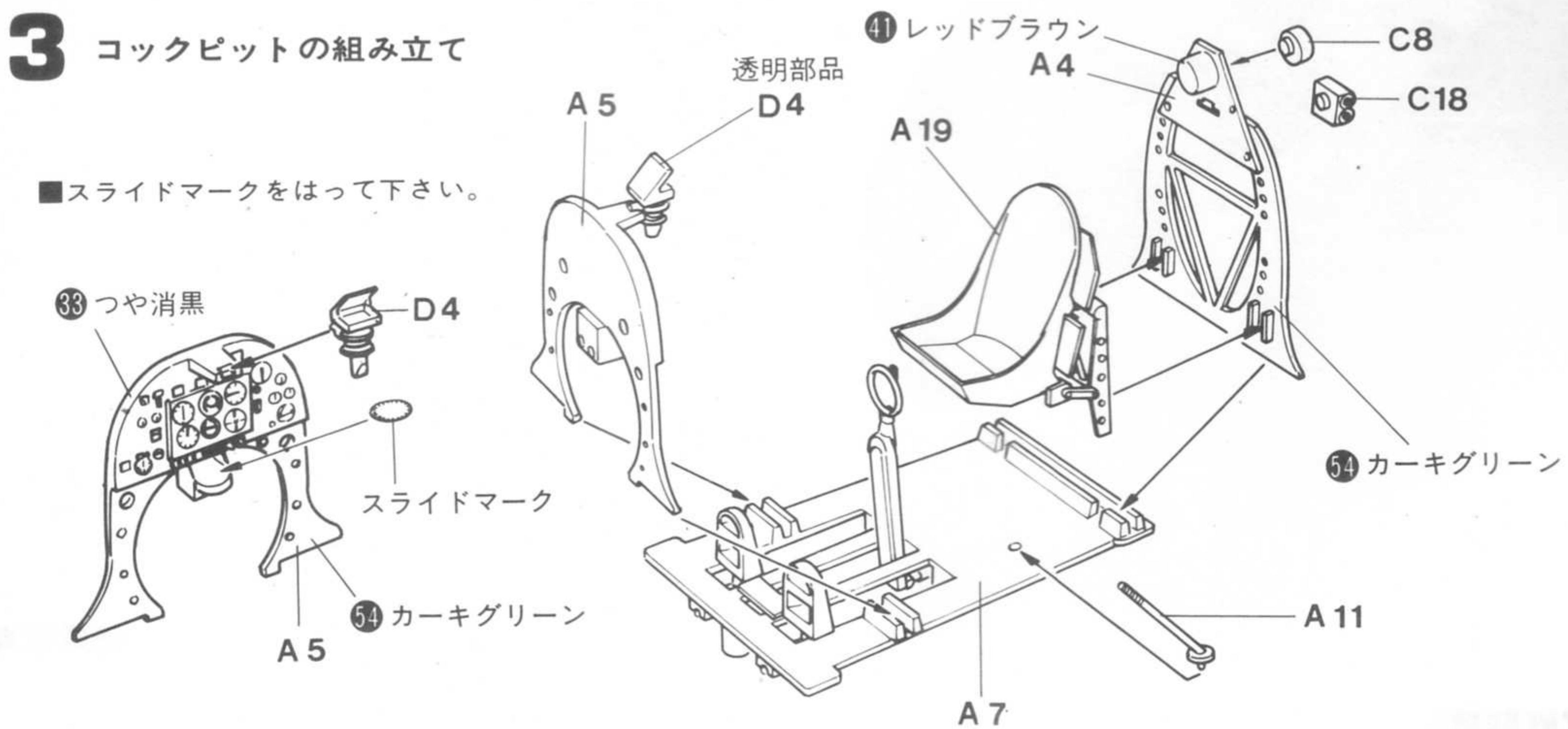
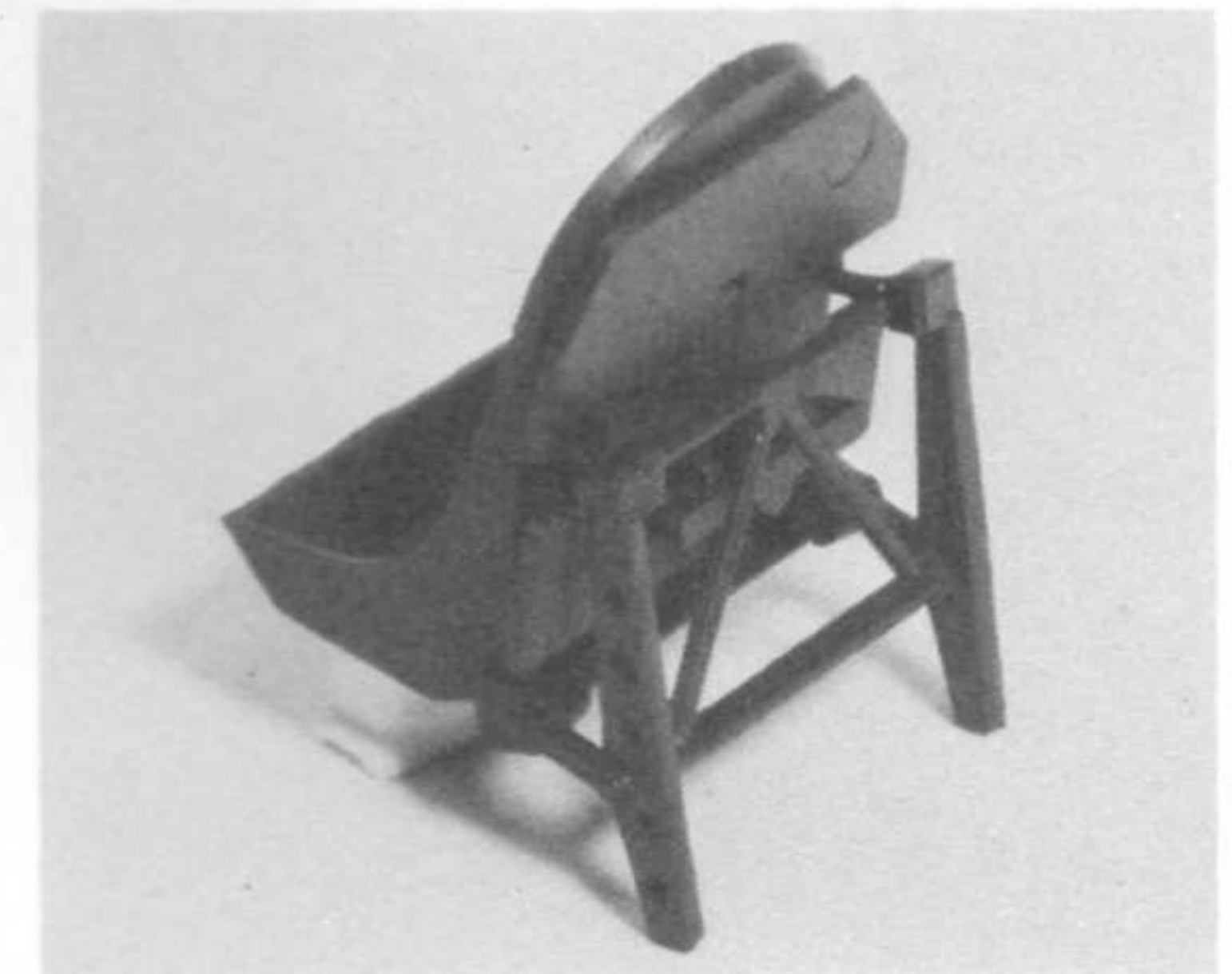
■操縦桿のくみたち

部品A7をはさんで、部品A18と操縦桿、フットペダルを接着して下さい。



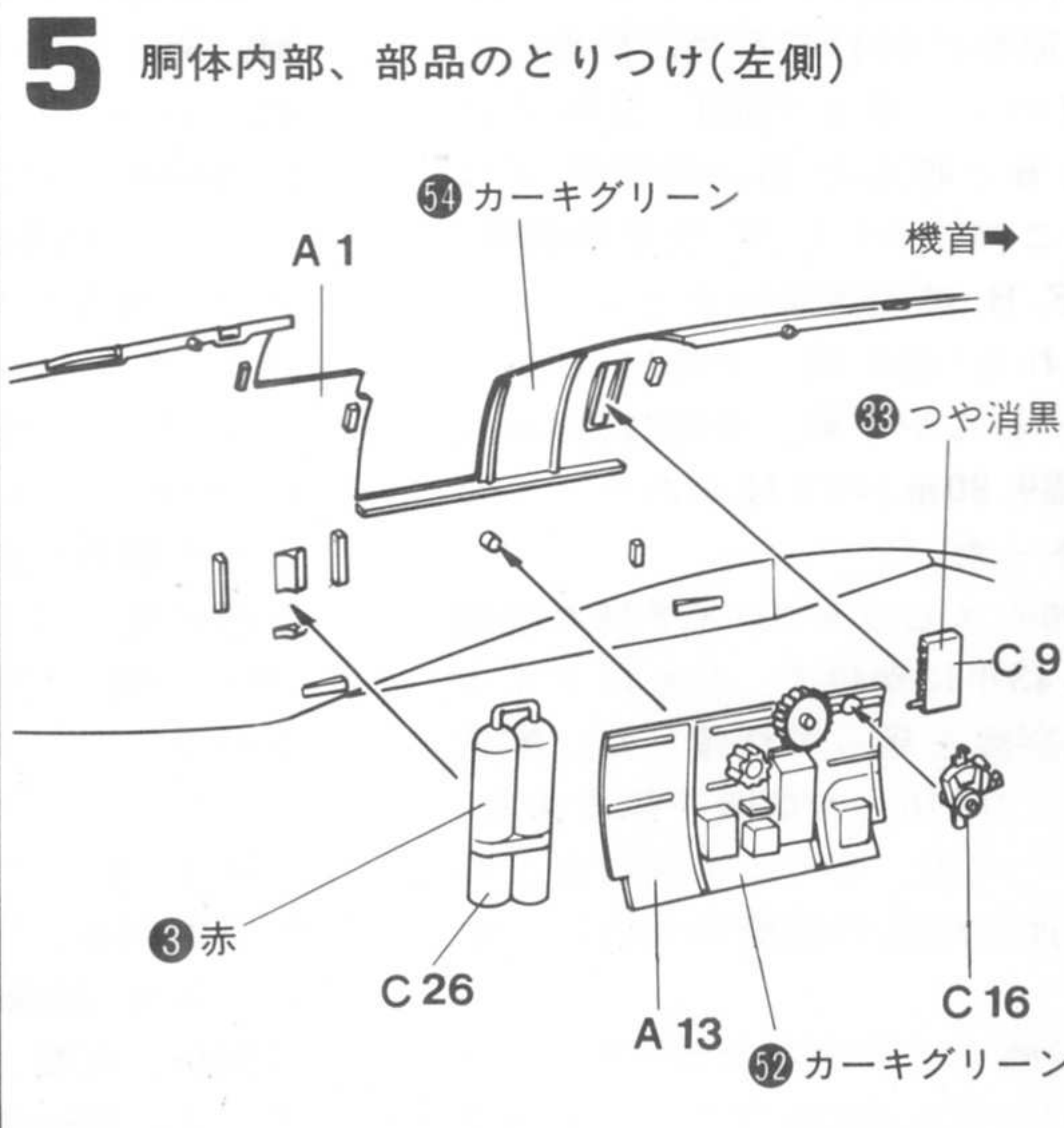
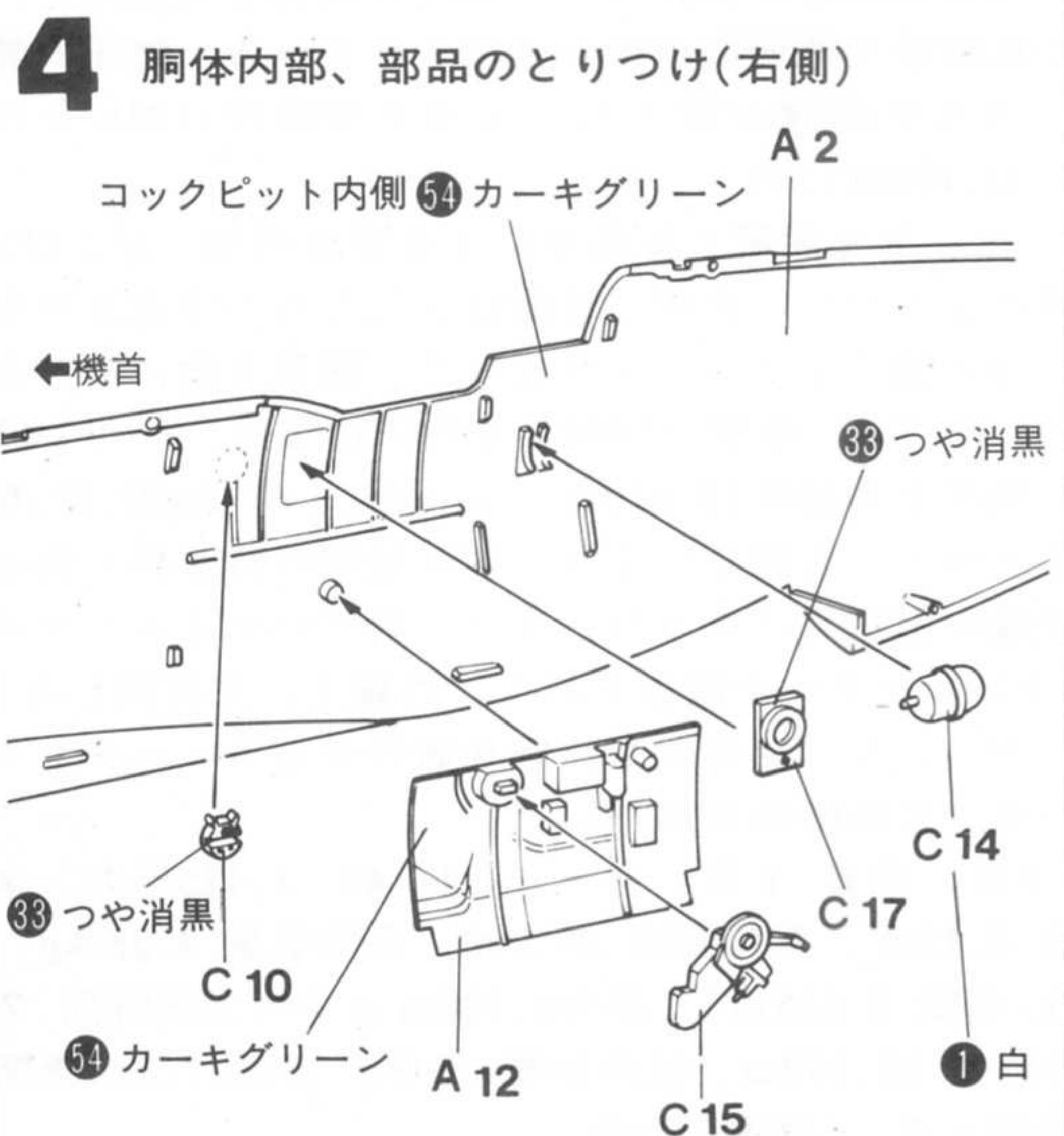
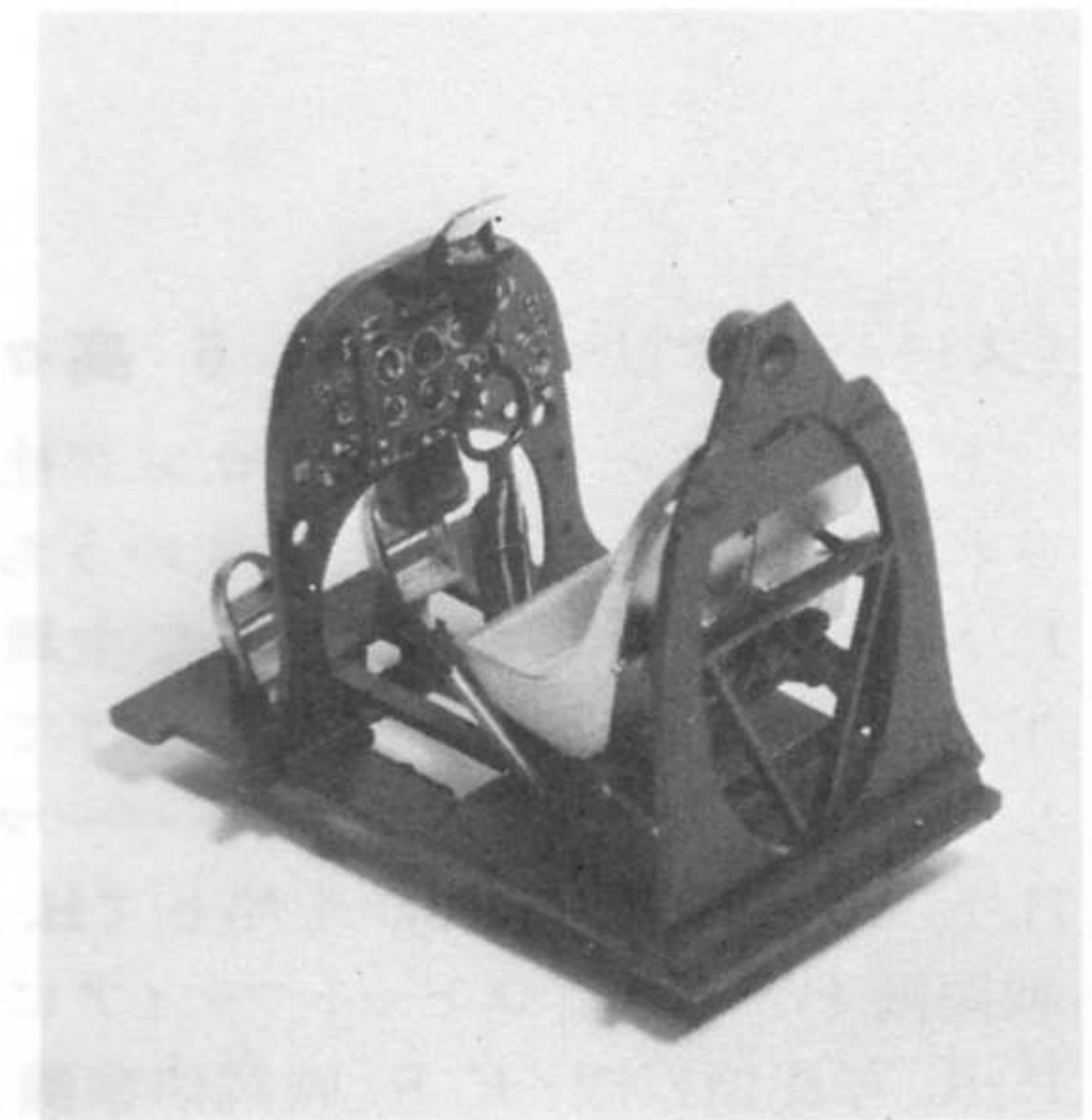
■座席のくみたち

図をよくみてそれぞれの部品をくみたちて下さい。

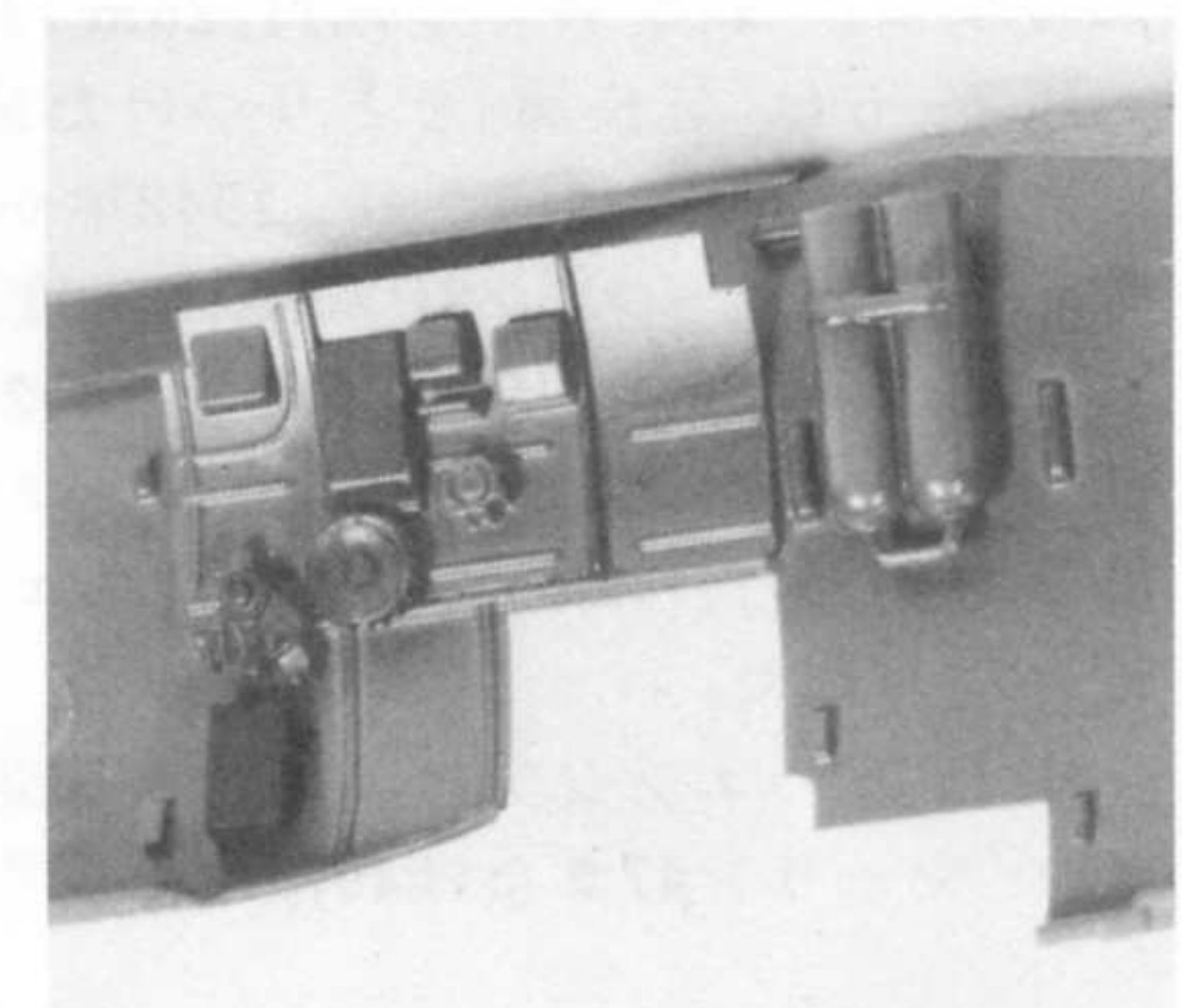


■コックピットのくみたち

C8とC18はどちらか選んでくみたちて下さい。

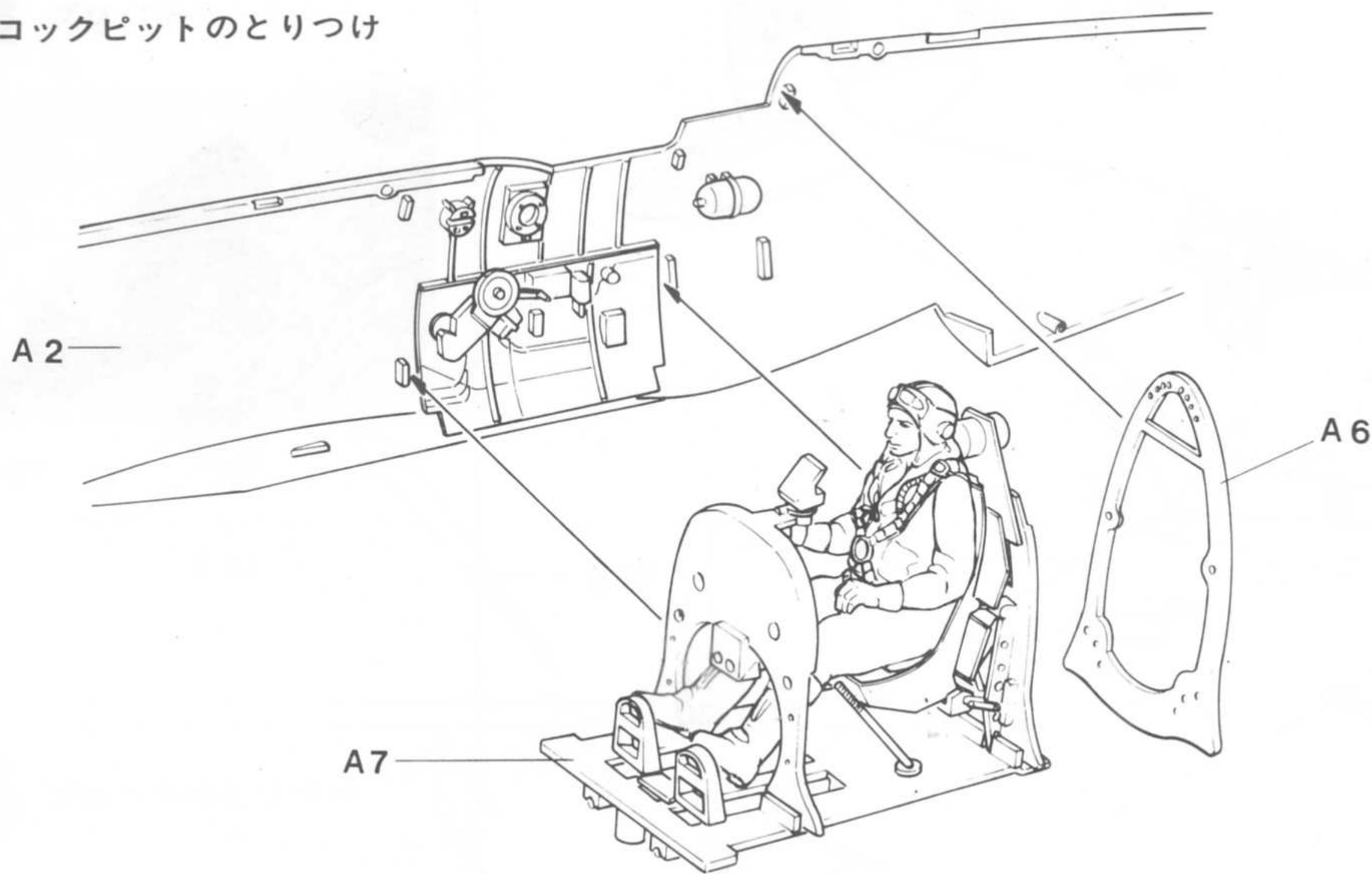


■胴体内部の部品のとりつけ





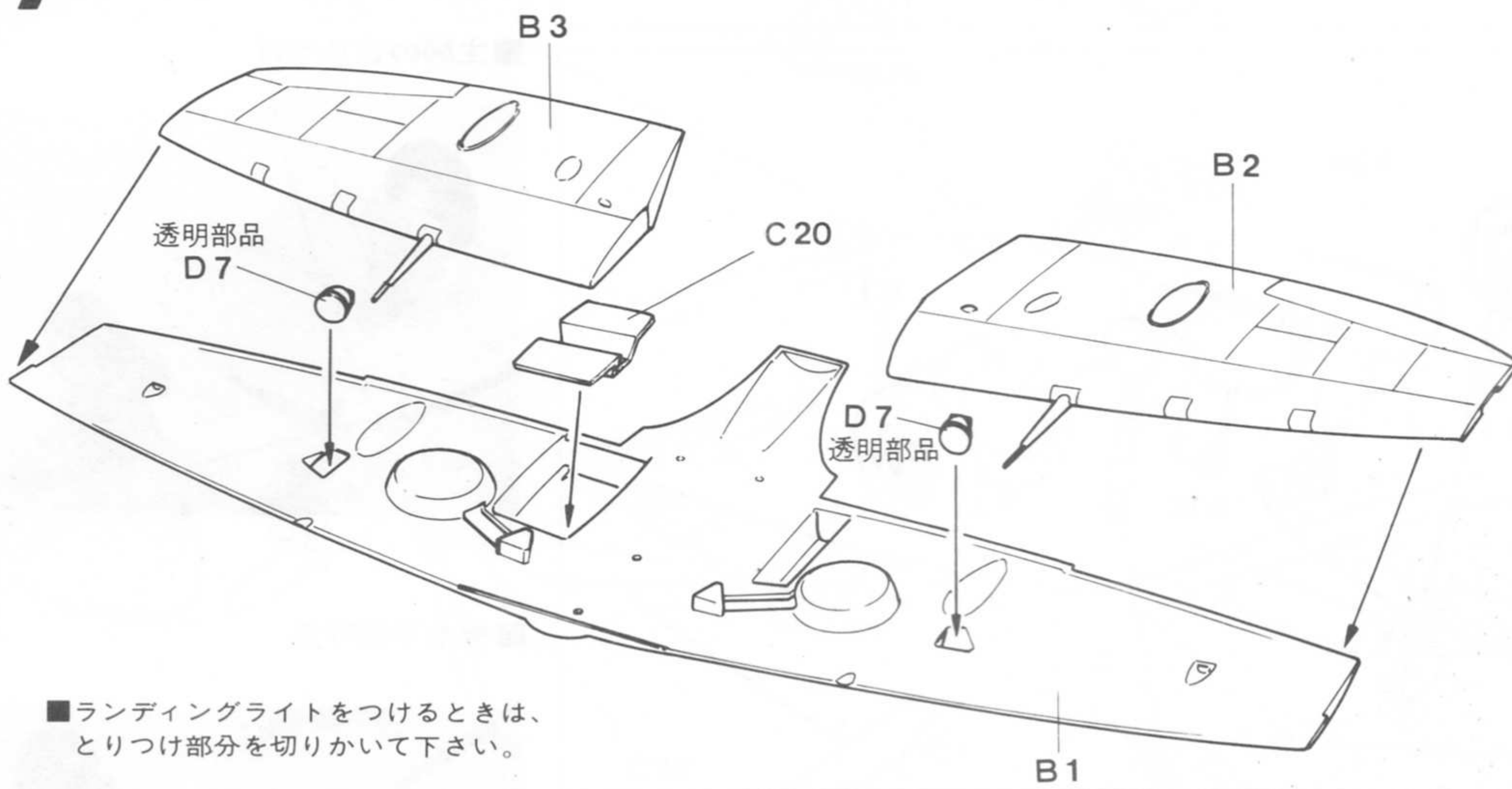
## 6 コックピットのとりつけ



## ■人形の組み立て

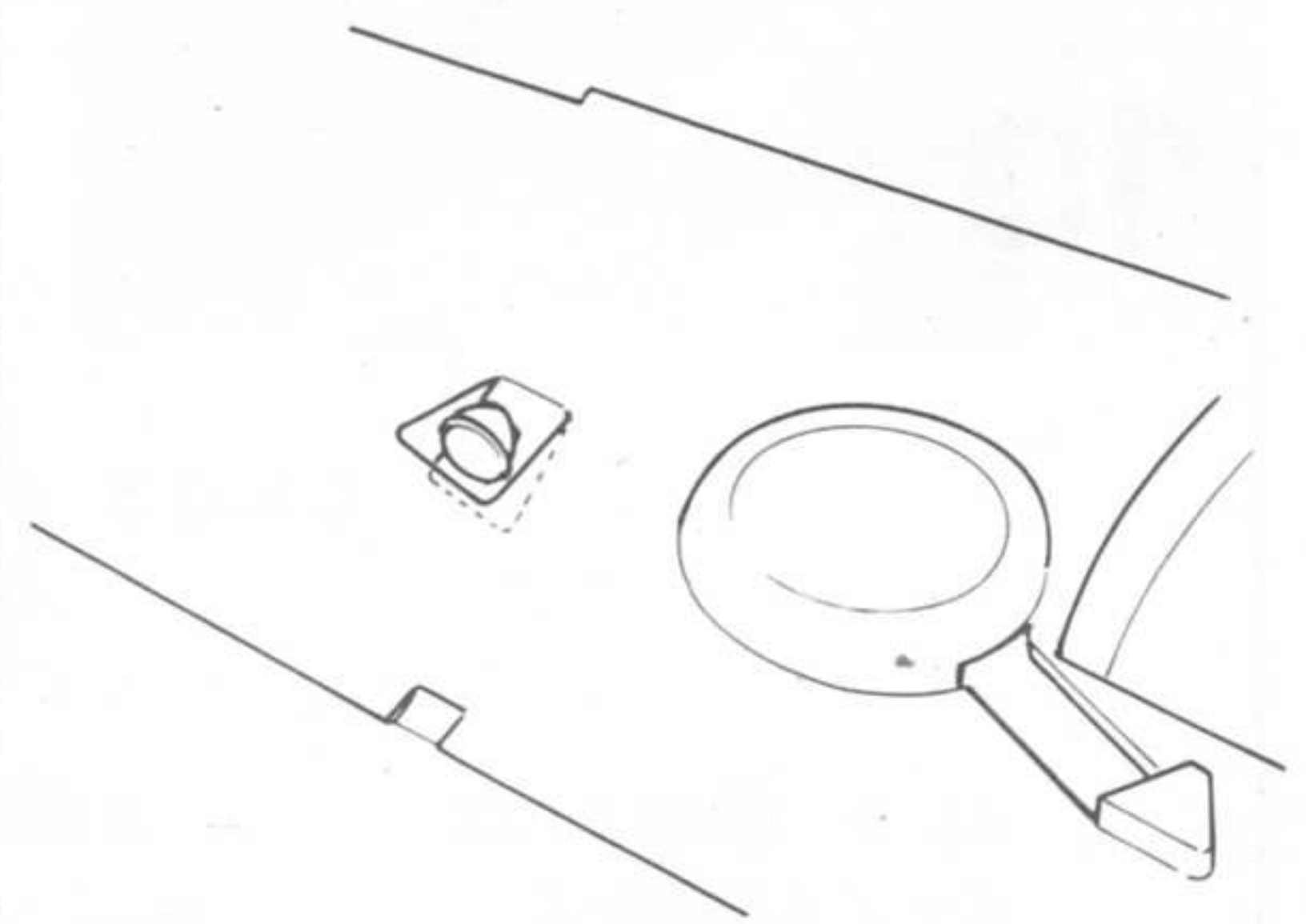


## 7 主翼のくみため



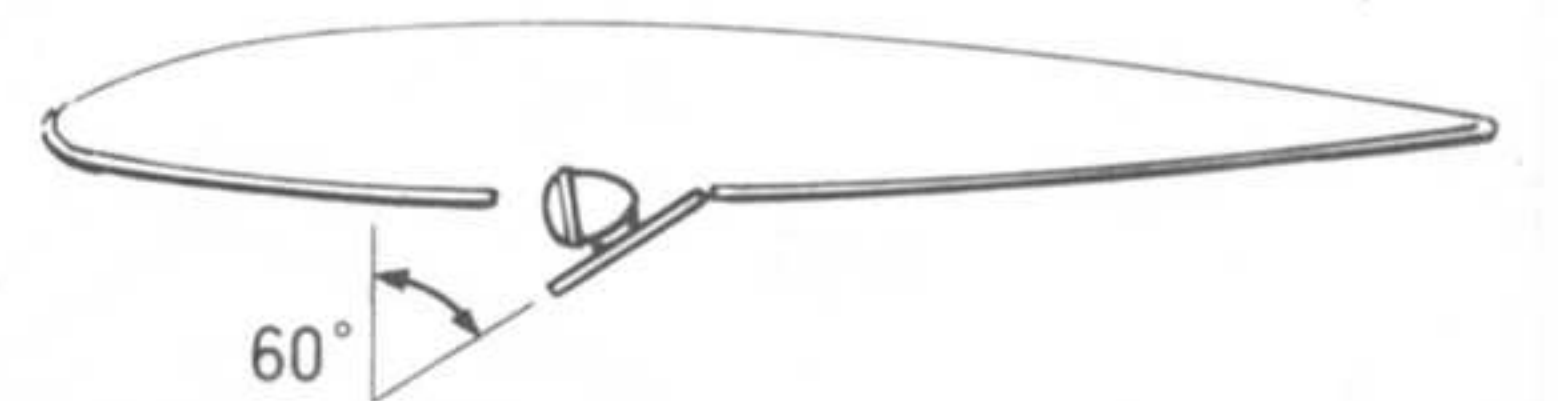
## ■ランディングライトのとりつけ

ランディングライトは点灯状態にする場合のみとりつけて下さい。

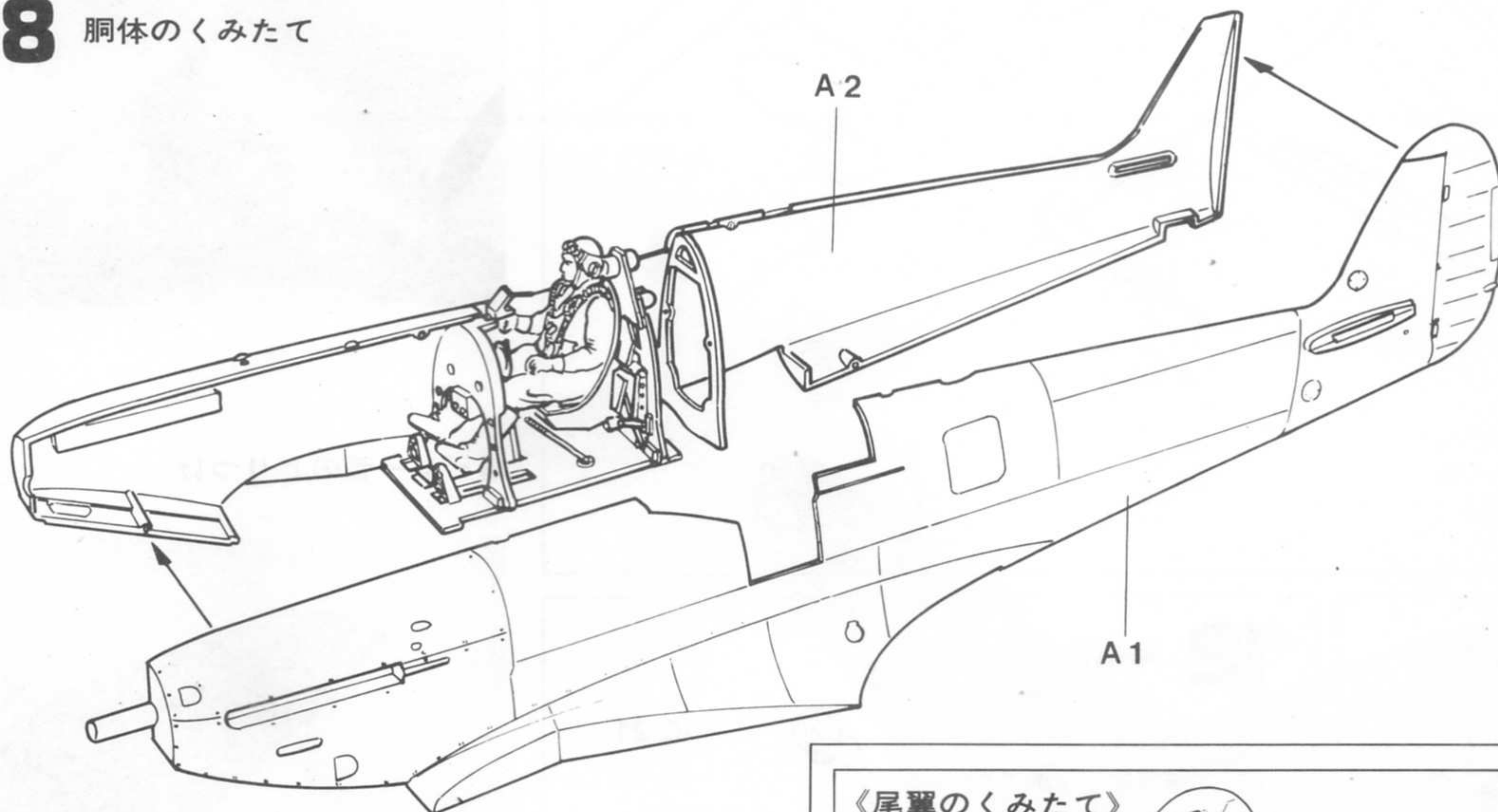


## ■ランディングライトの角度

ランディングライトを点灯させた時は下図の角度になります。

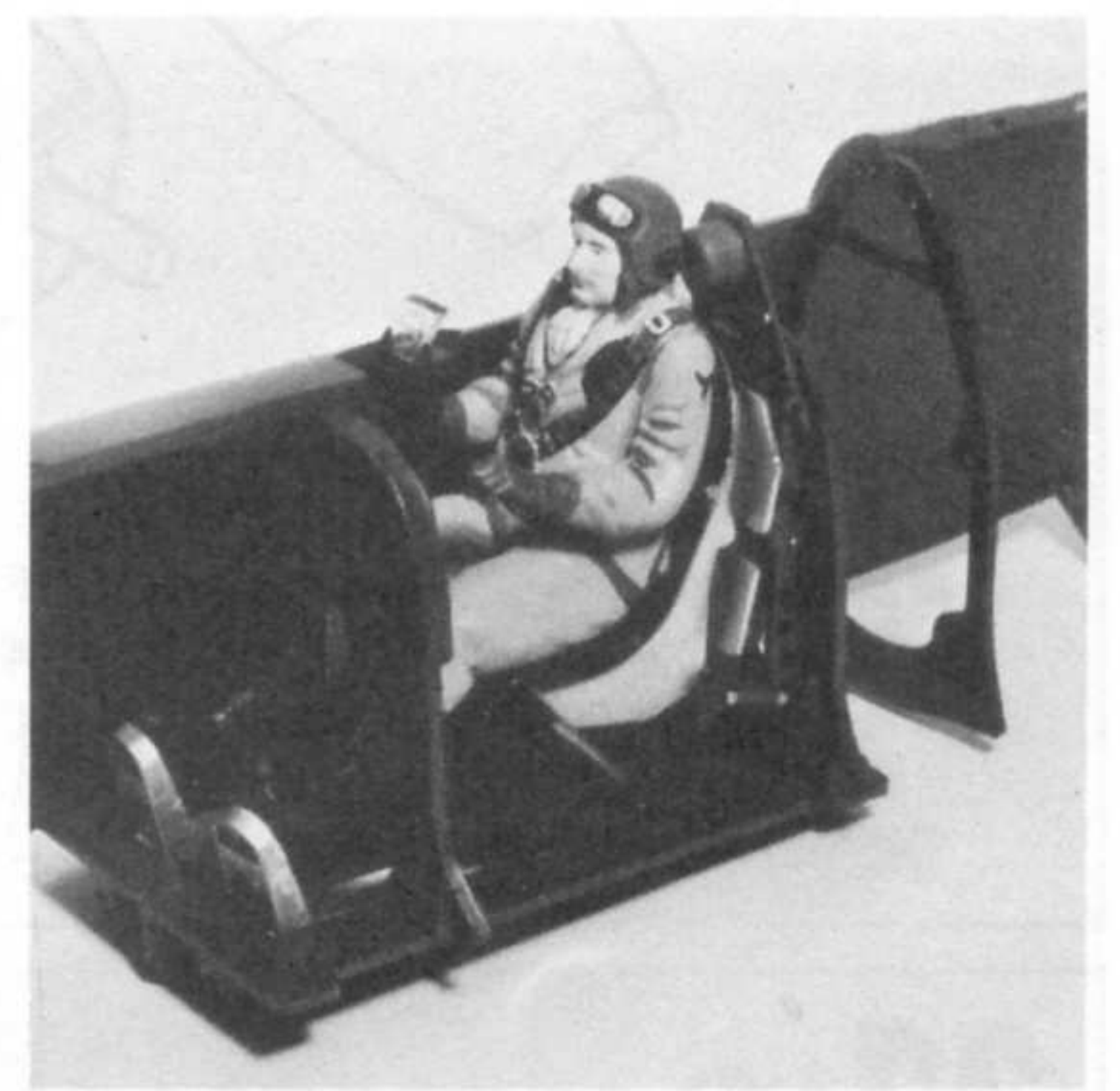


## 8 胴体のくみため

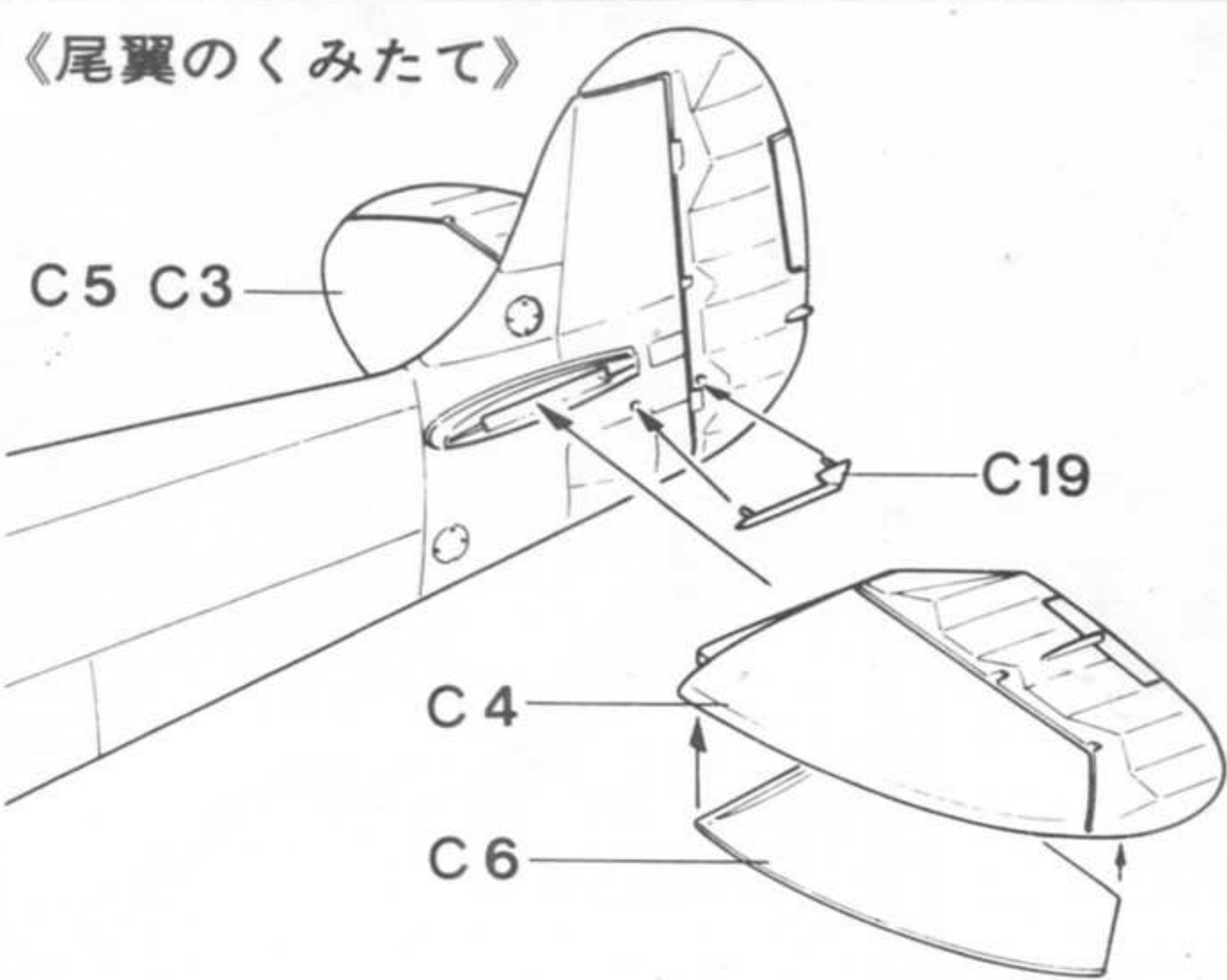


## ■胴体のくみため

胴体の接着面の両方に接着剤をつけてはり合わせて下さい。座席位置に注意して、かわくまでセロテープ等でとめておきます。

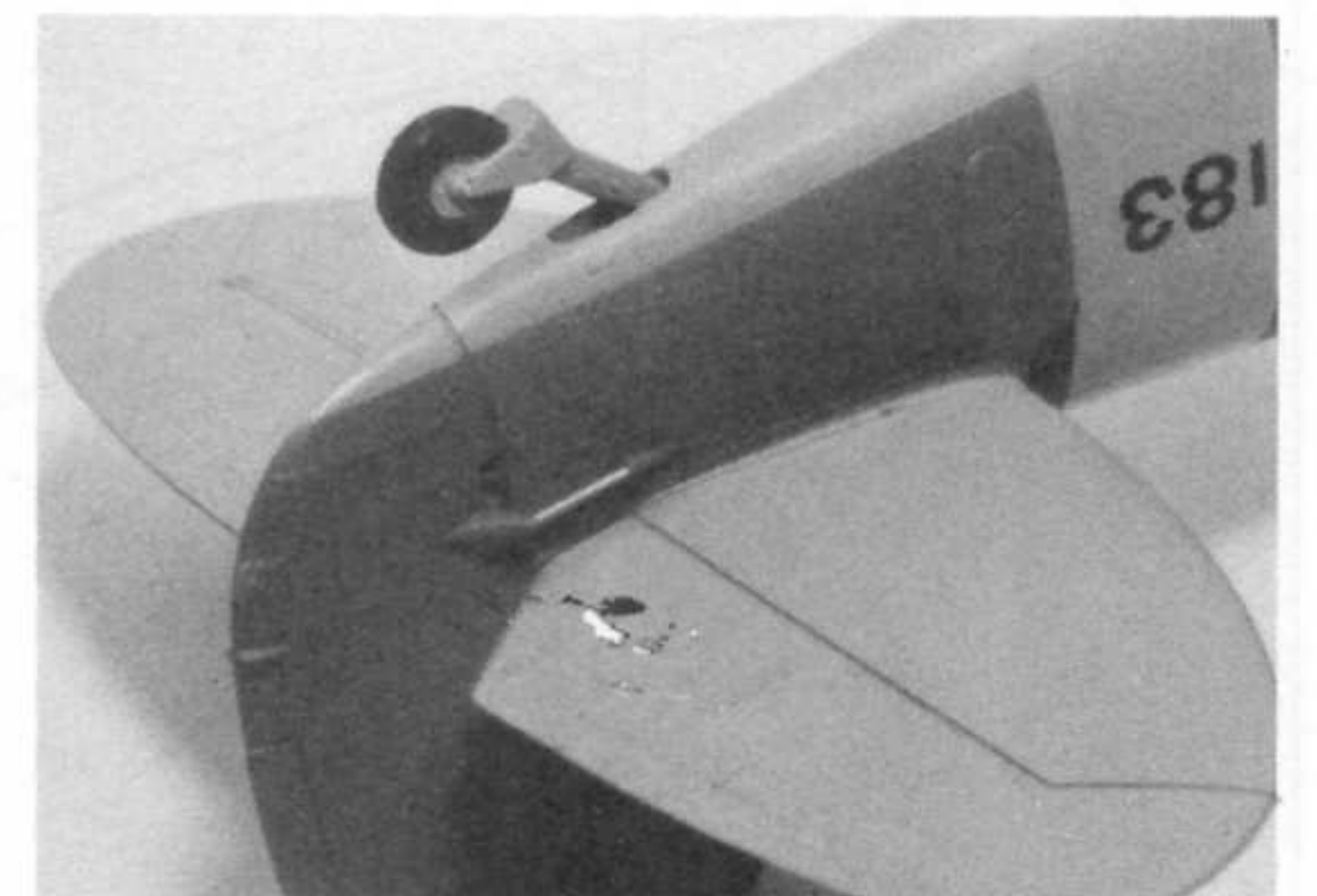


## 《尾翼のくみため》



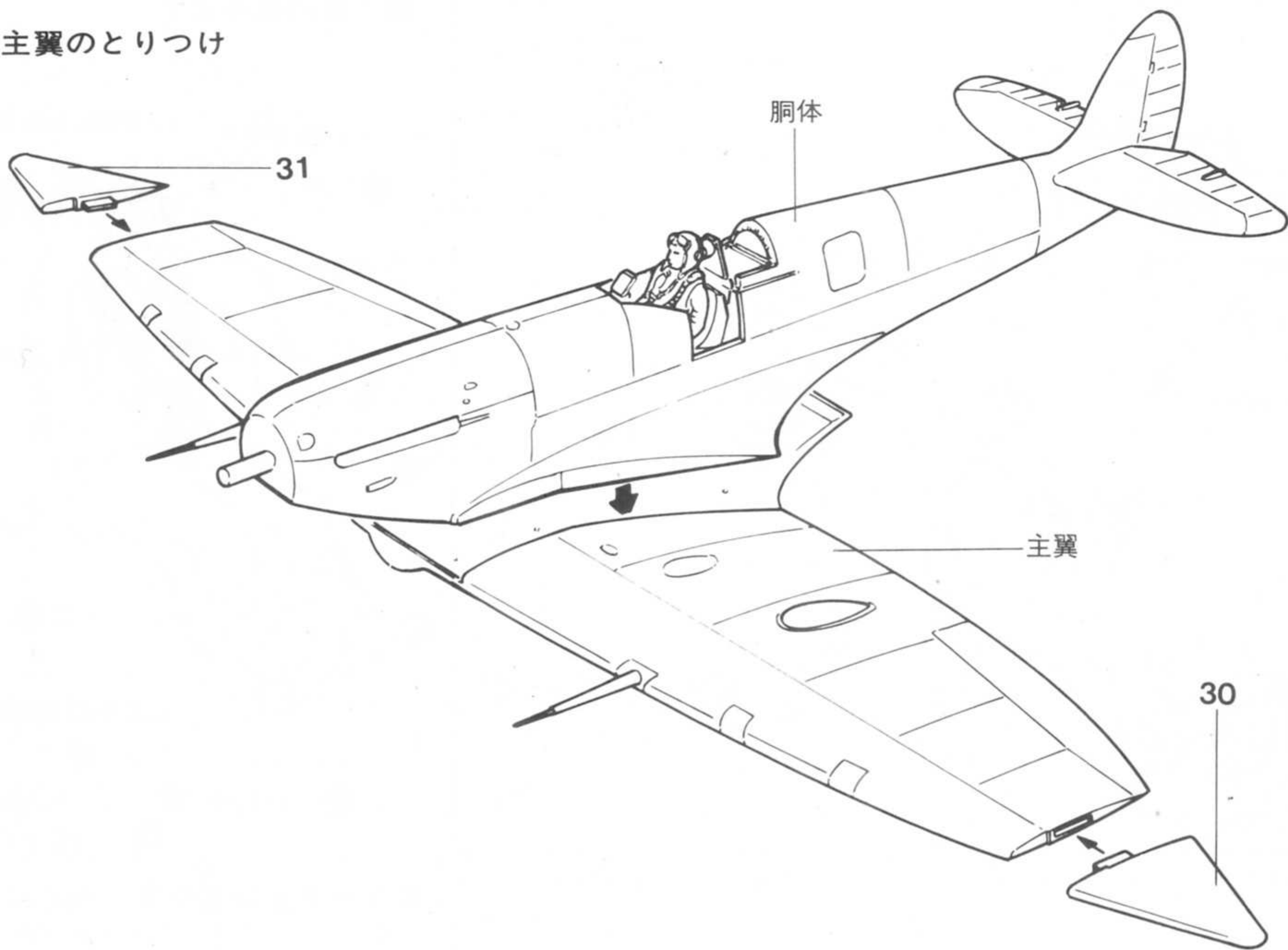
## ■尾翼のくみため

部品C19をわすれないでとりつけて下さい。

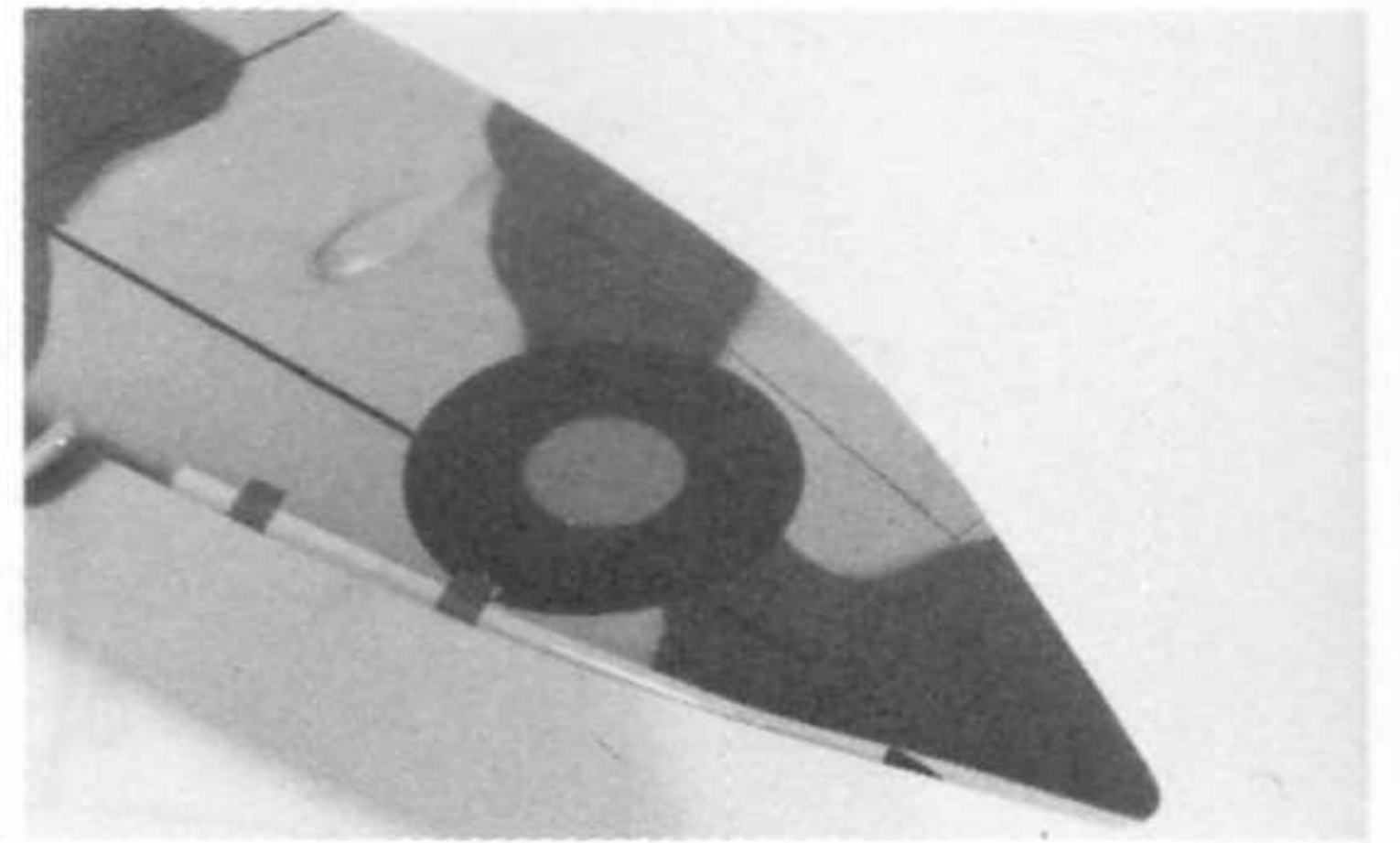




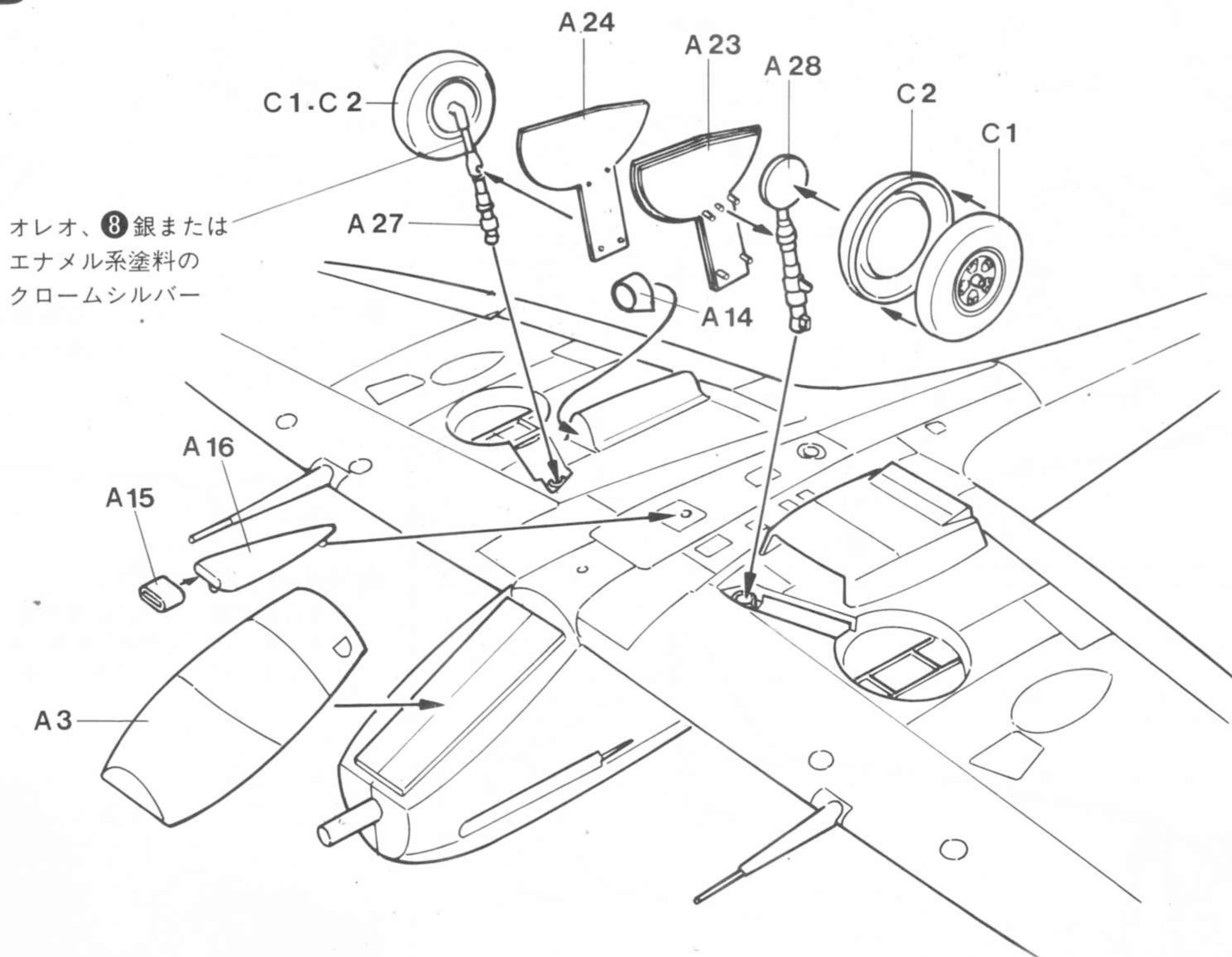
## 9 主翼のとりつけ



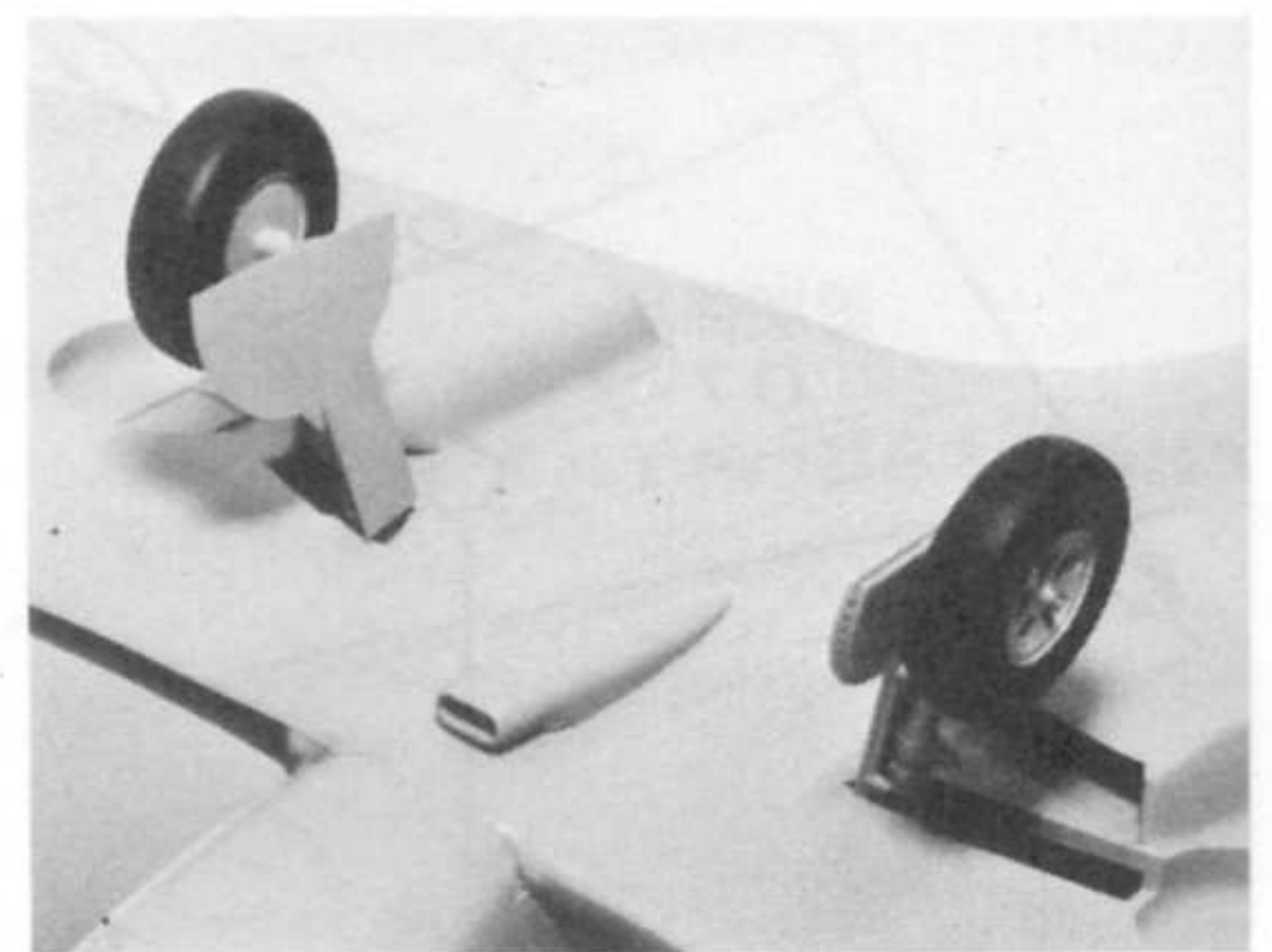
■主翼のとりつけ



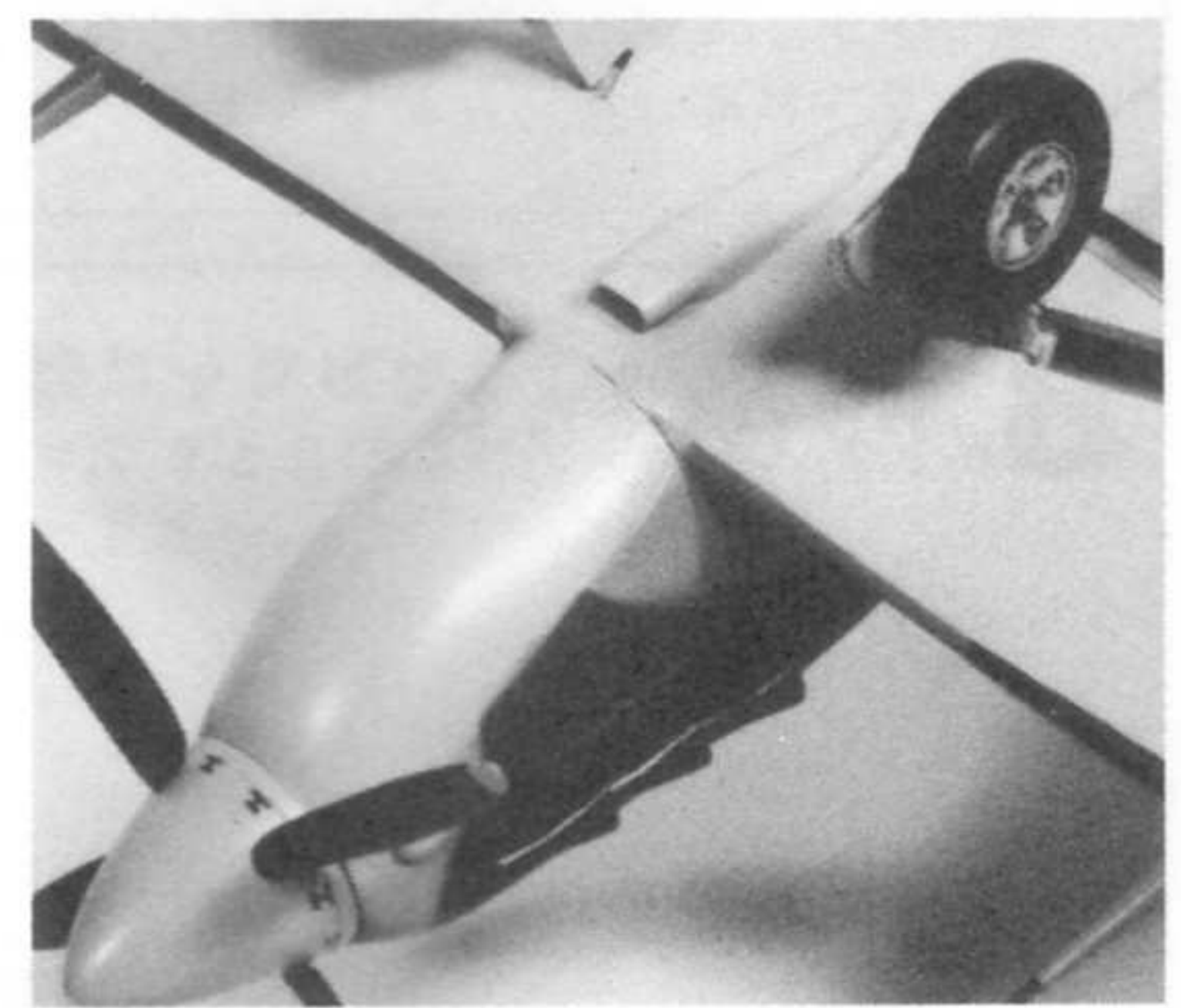
## 10 主脚のとりつけ



■主脚のとりつけ

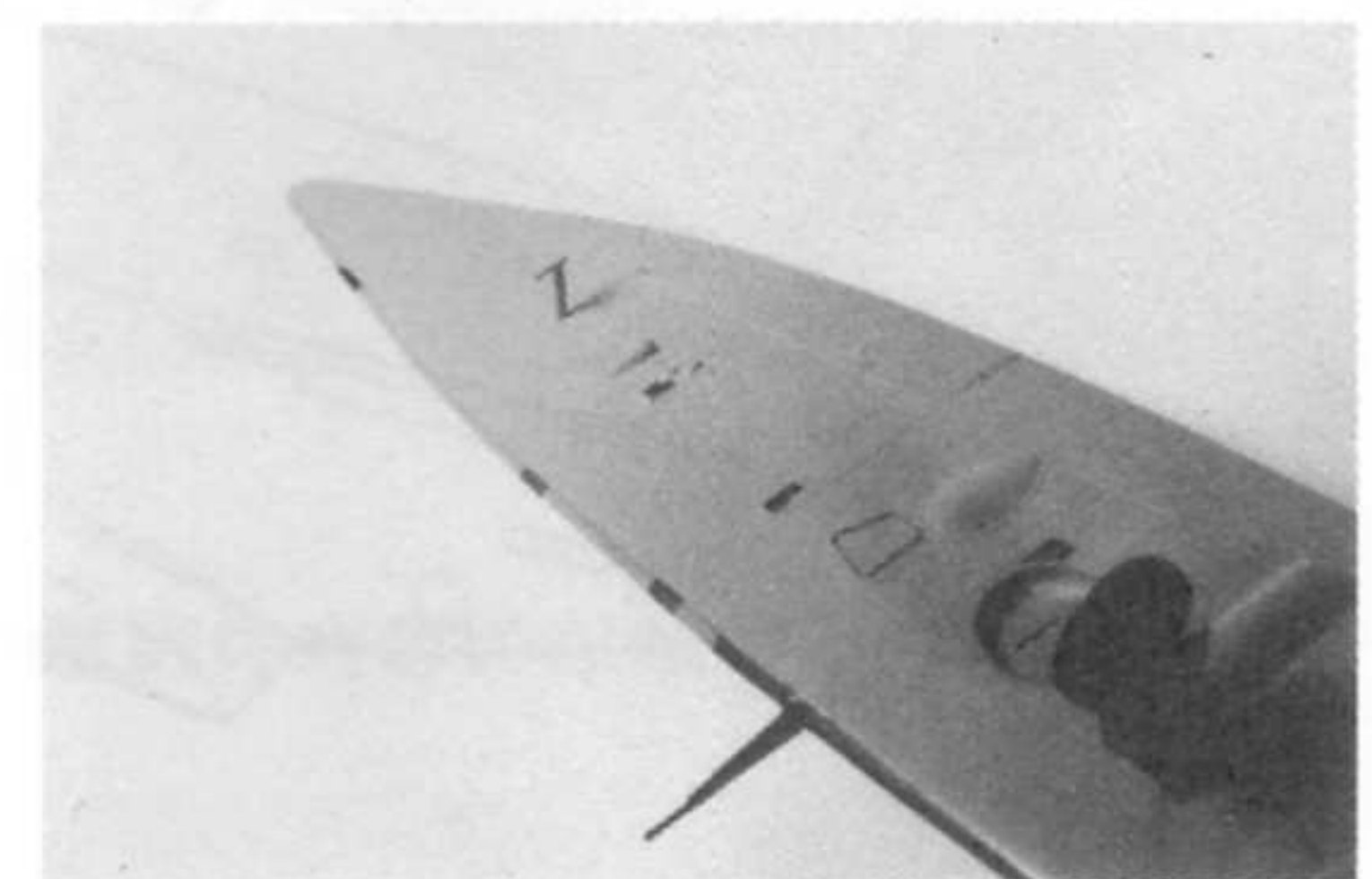


■機主下部写真

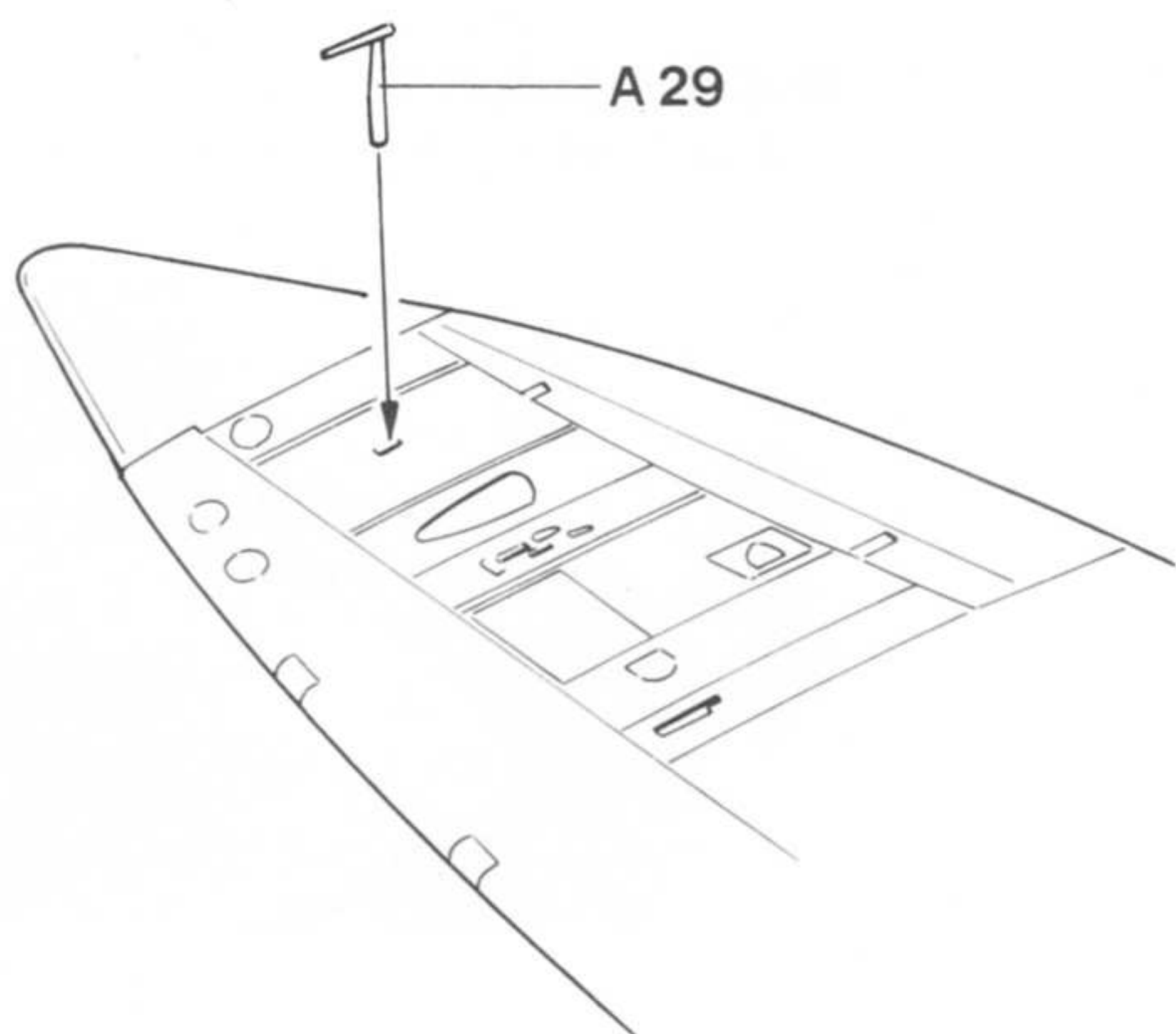


■脚柱、脚カバー、及びホイールは下面と同じ色で塗られていました。なお脚柱のオレオの部分はクロームシルバーです。

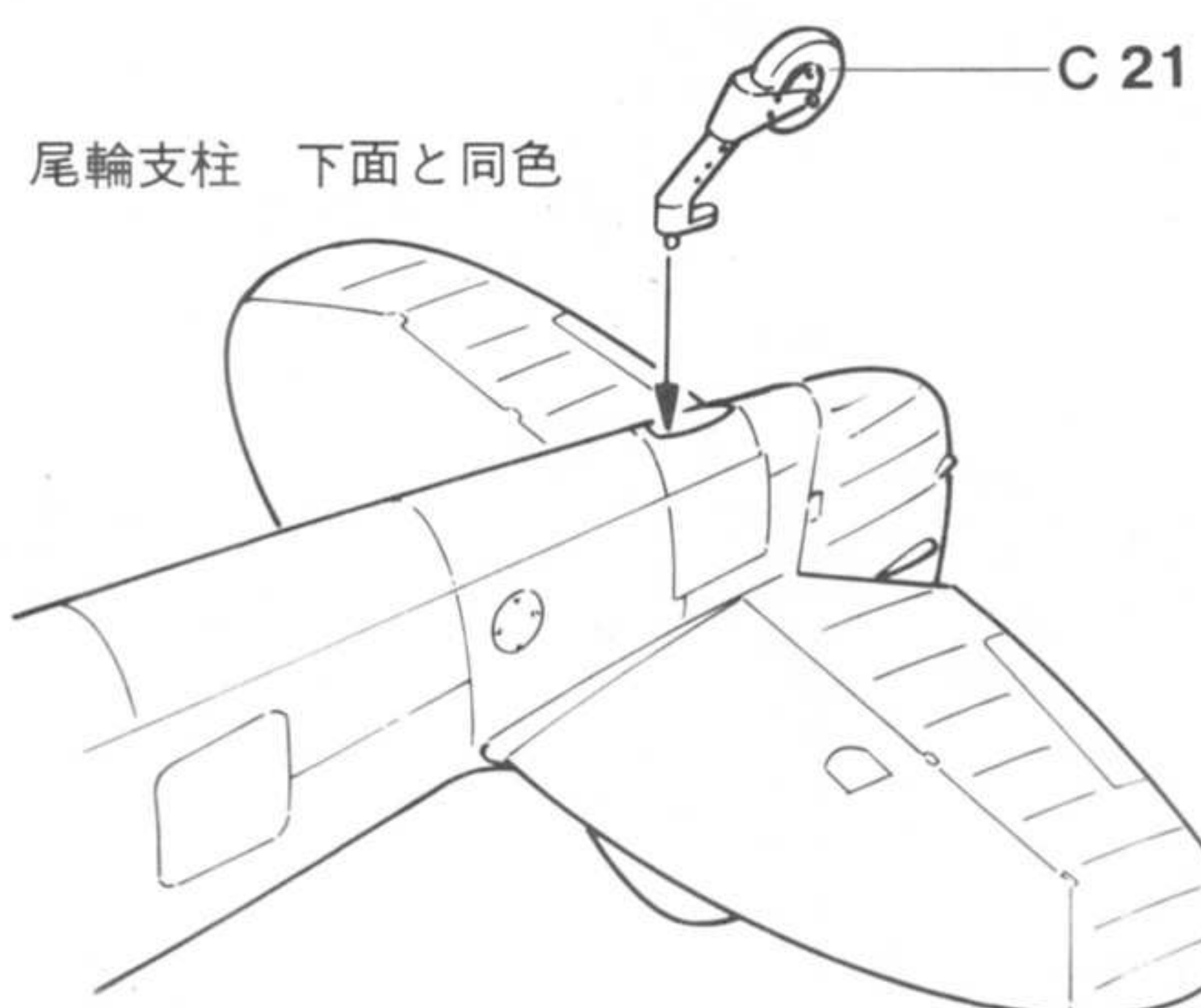
■ピトー管のとりつけ



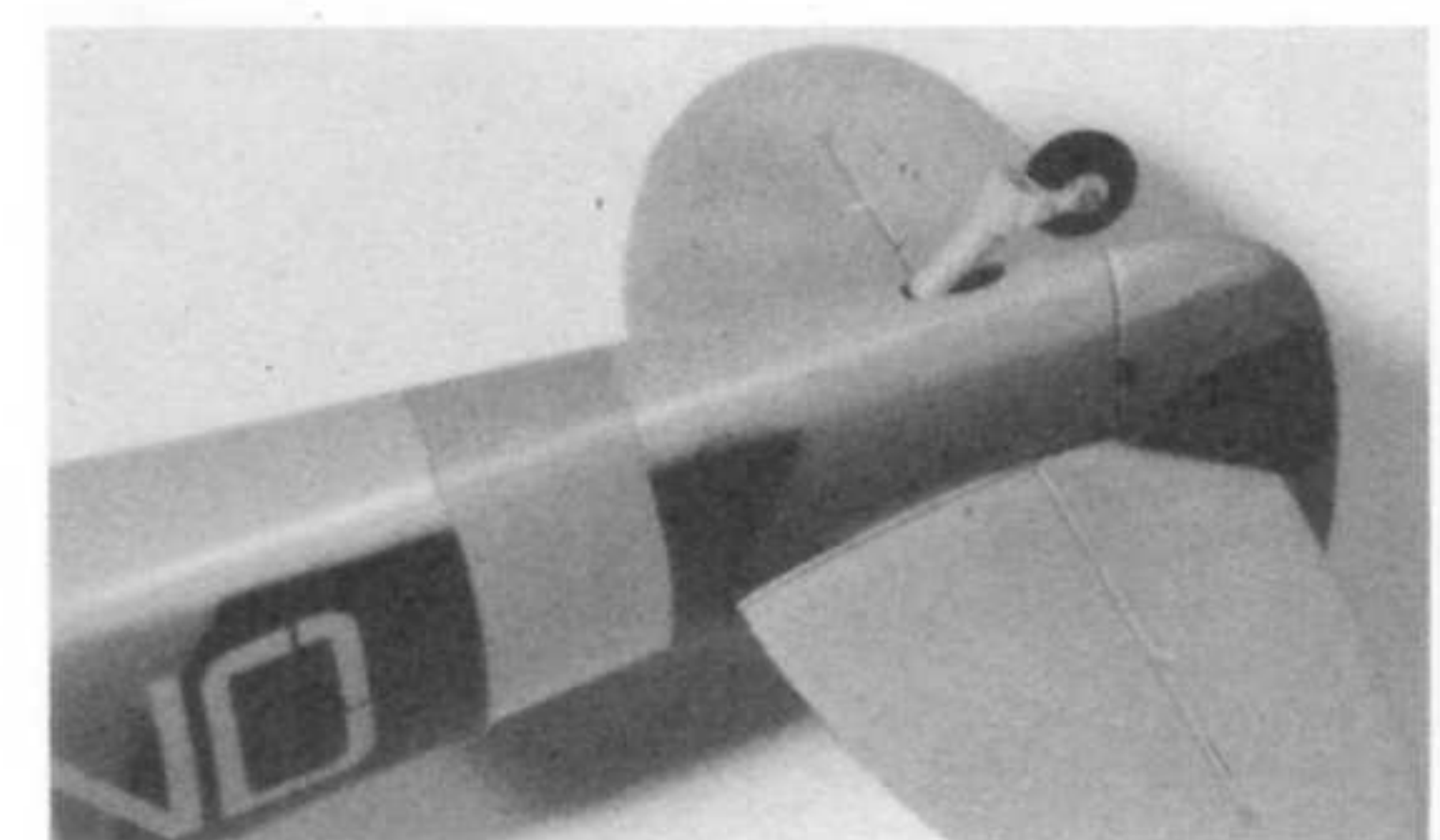
## 11 ピトー管のとりつけ



## 12 尾輪のとりつけ

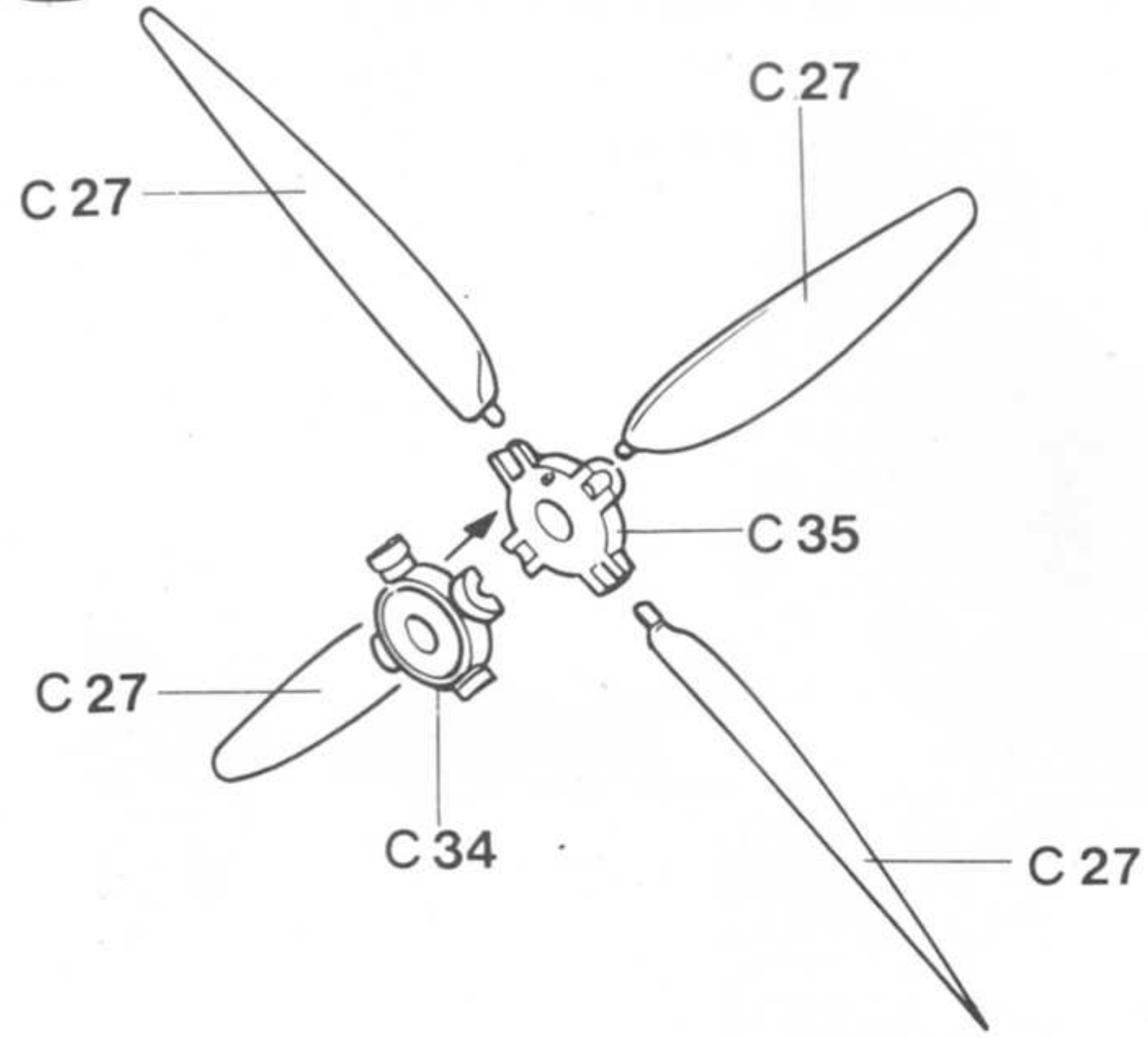


■尾輪のとりつけ

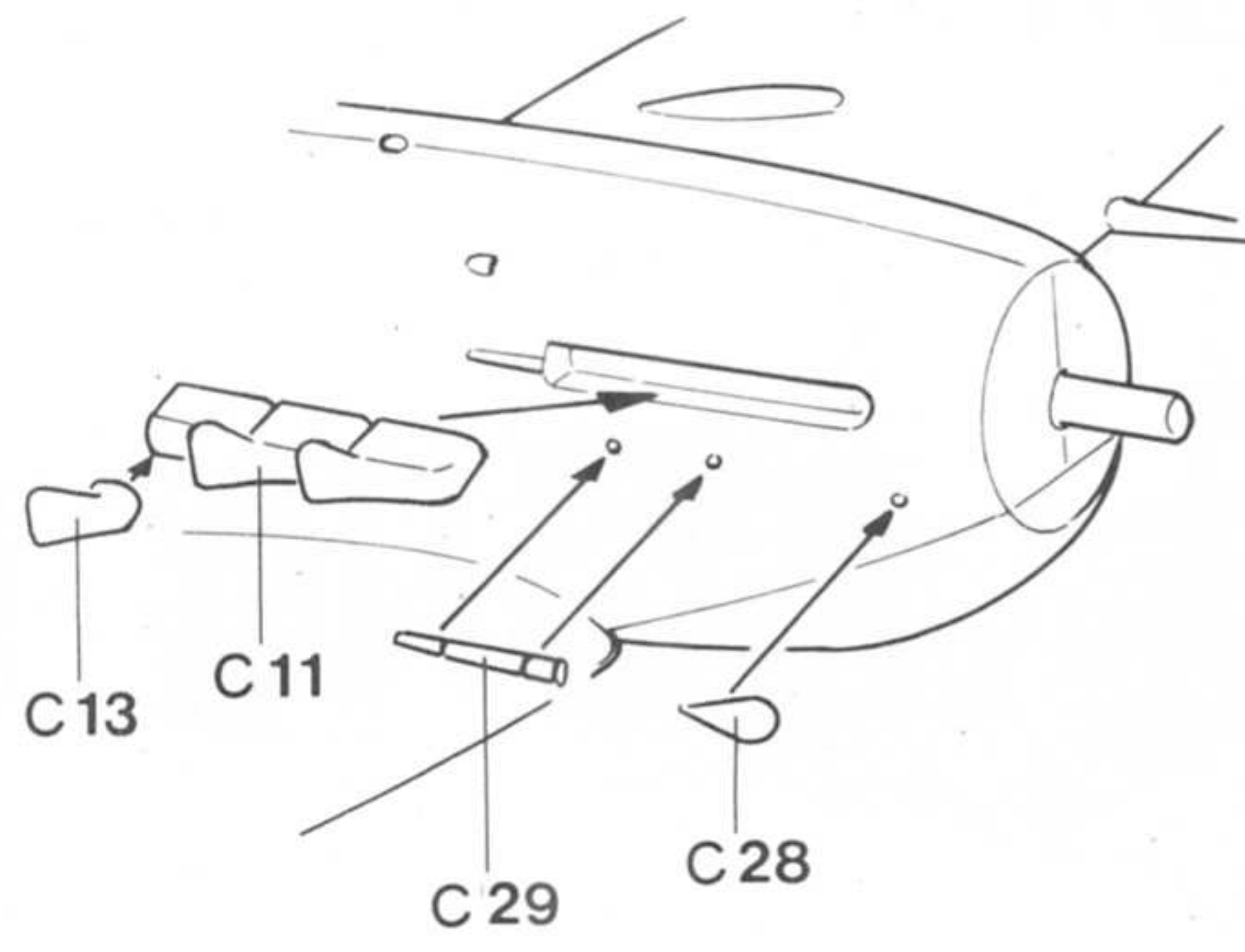




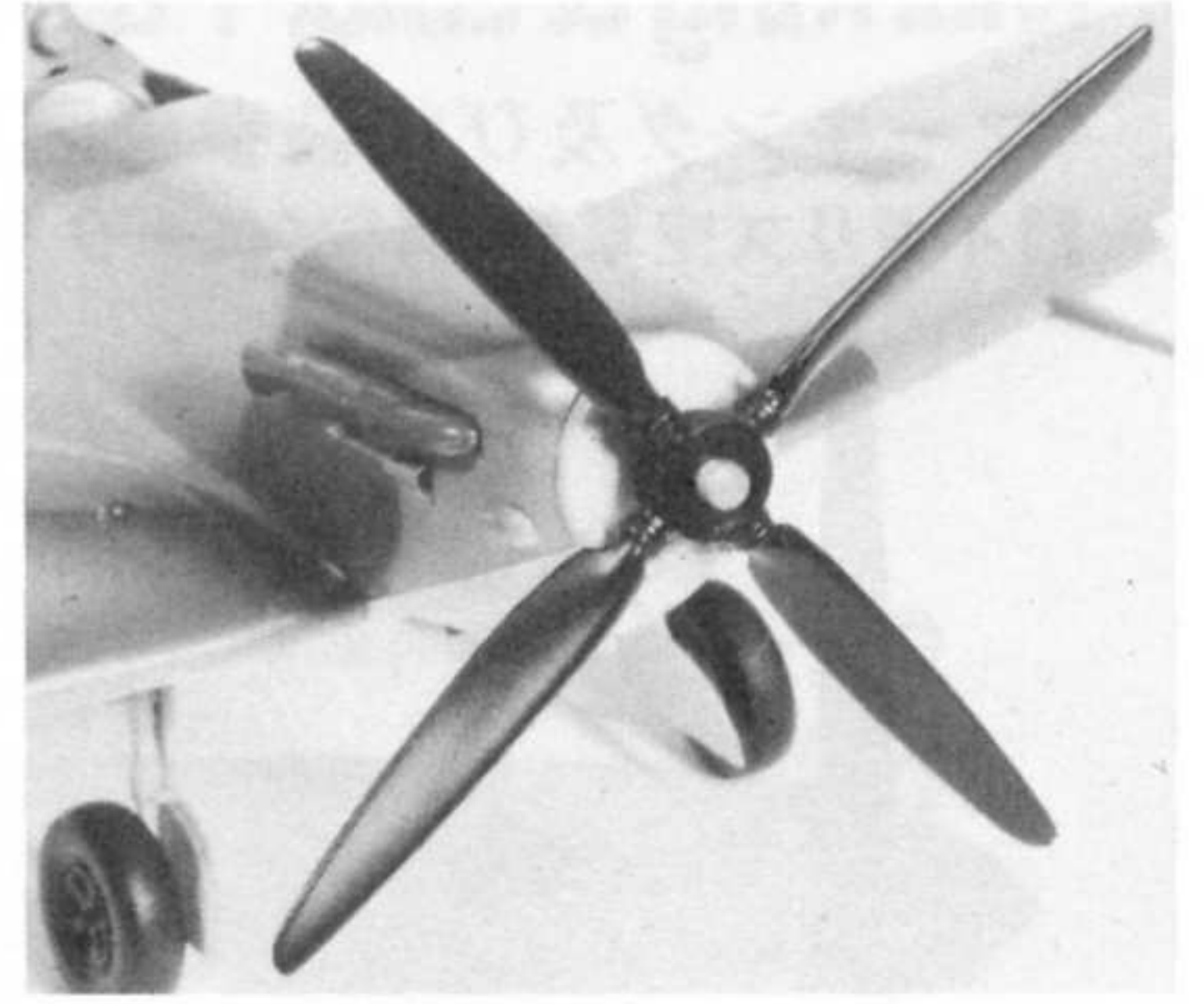
### 13 プロペラのくみため



### 14 機首部品のとりつけ

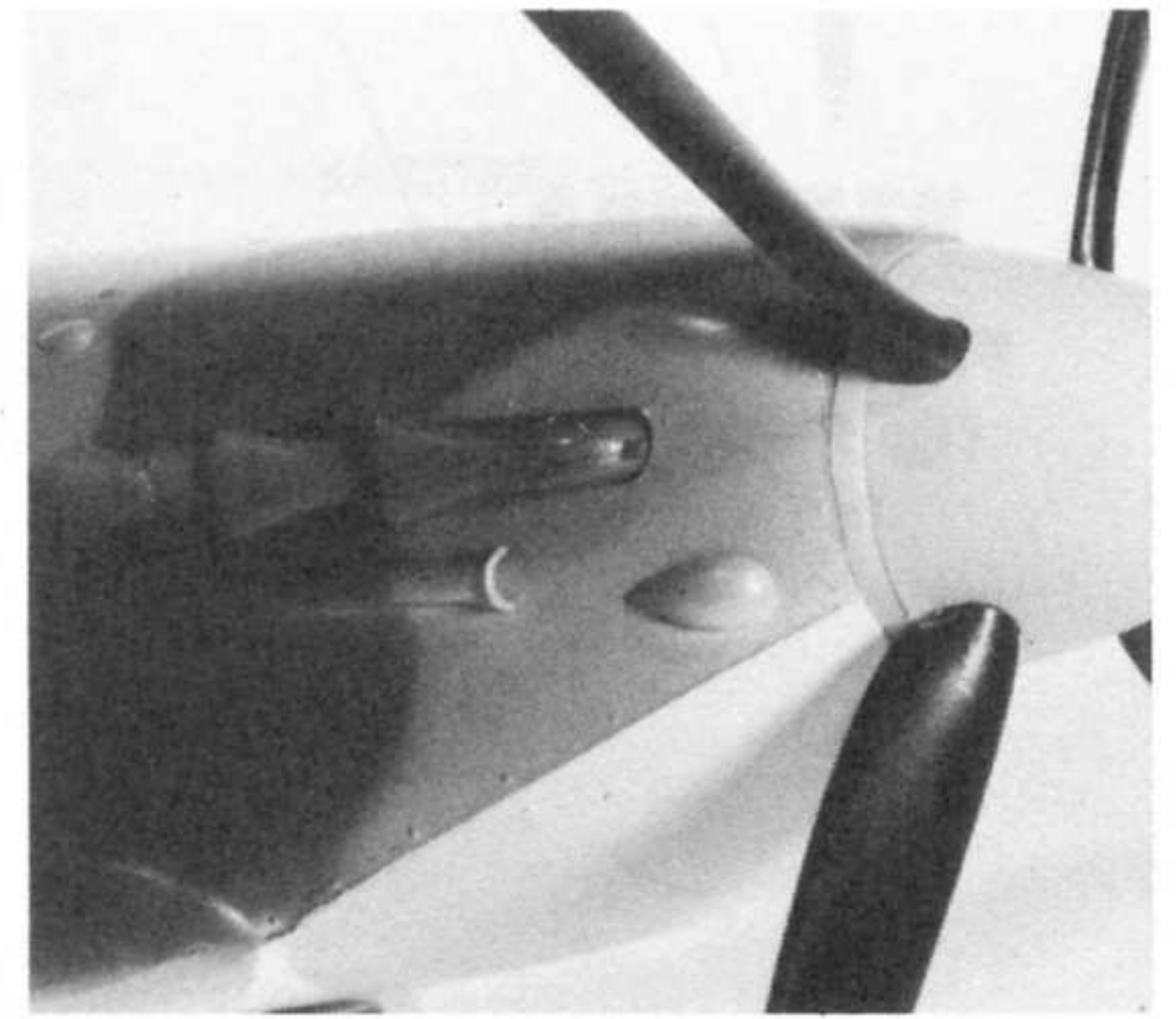
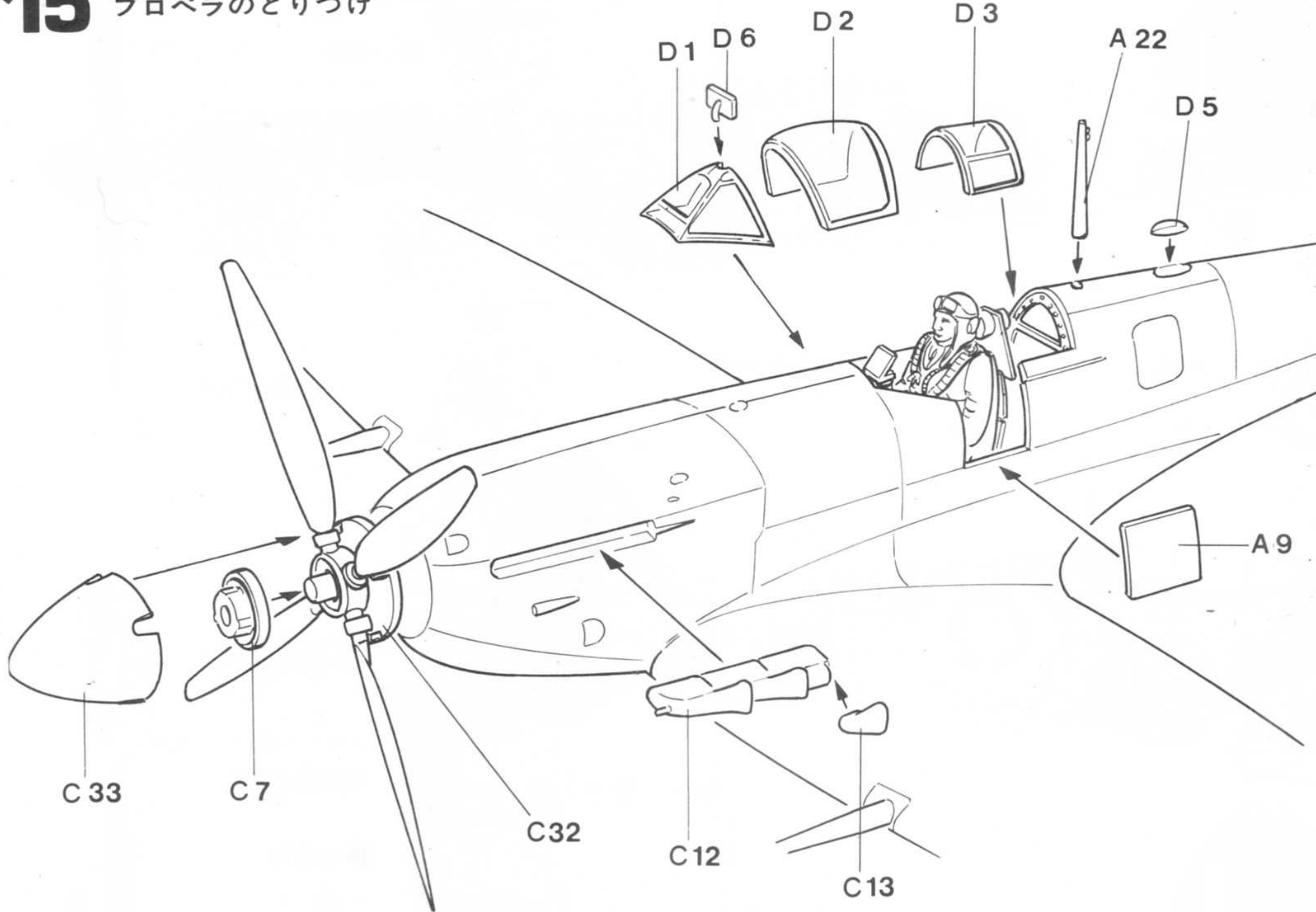


■プロペラのくみため



■機首部品のとりつけ

### 15 プロペラのとりつけ



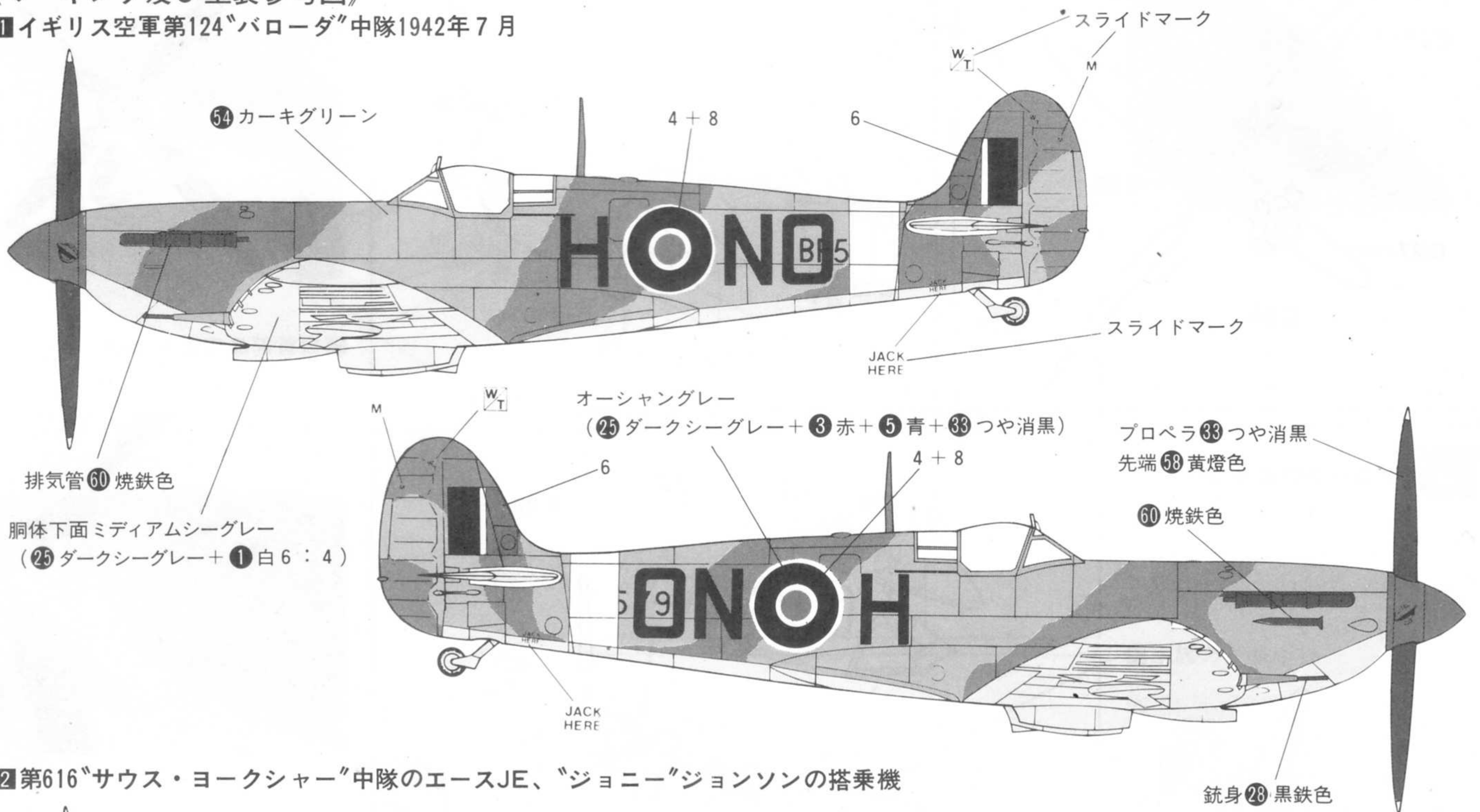


# Marking & Color Painting Guide

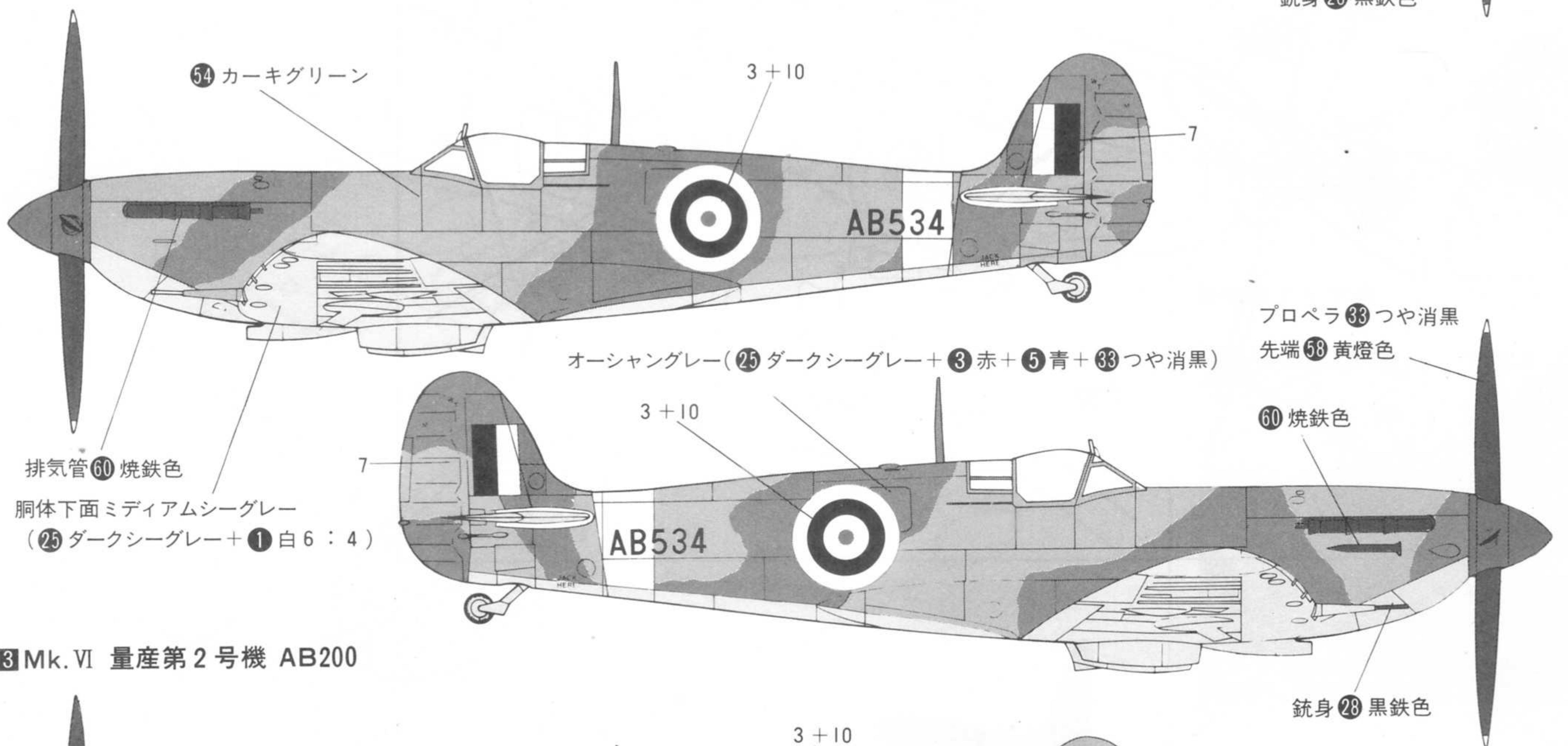
《マーキング及び塗装参考図》

■イギリス空軍第124“パローダ”中隊1942年7月

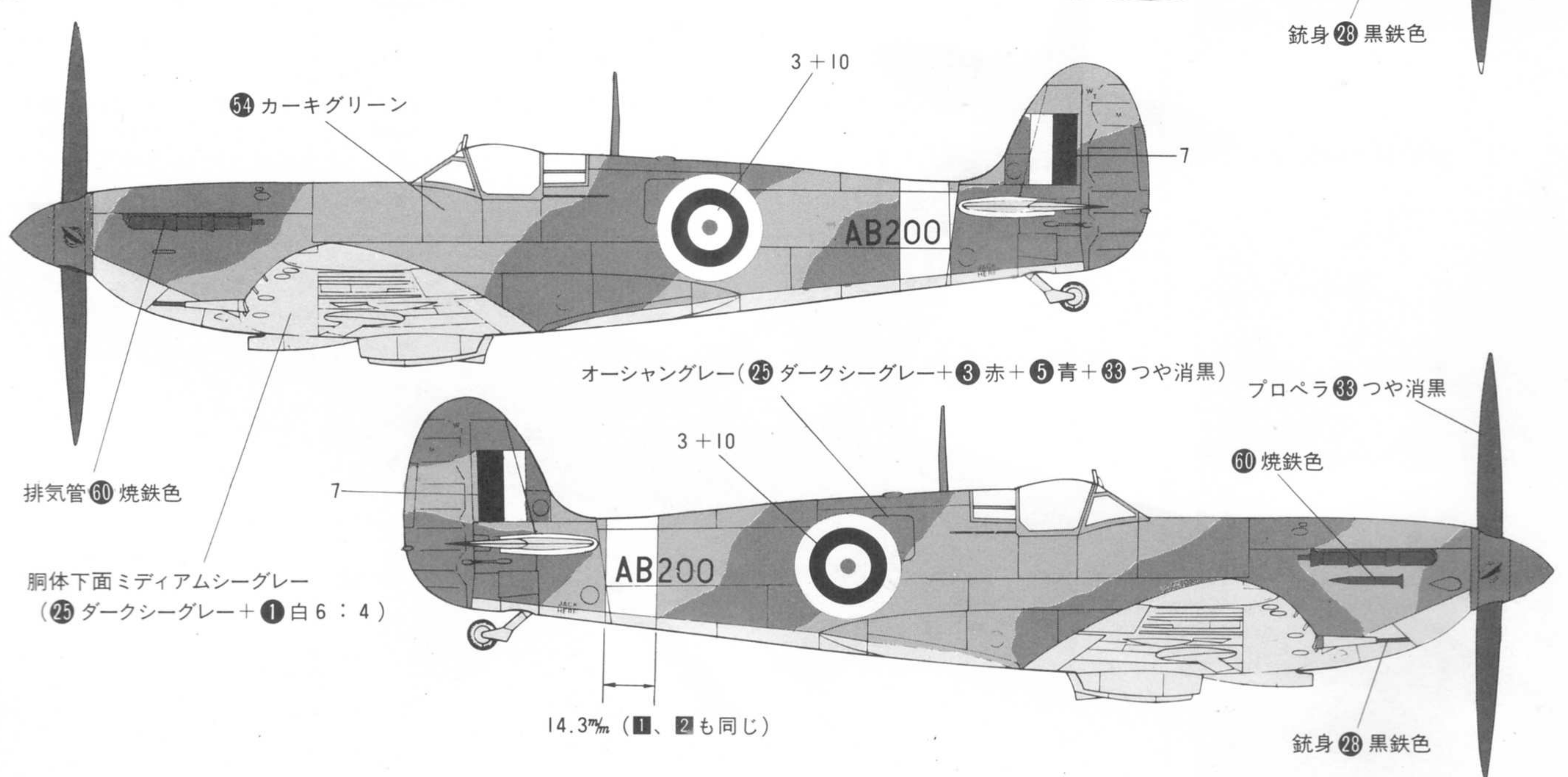
★細部のマーキングは②、③とも①と同じです。



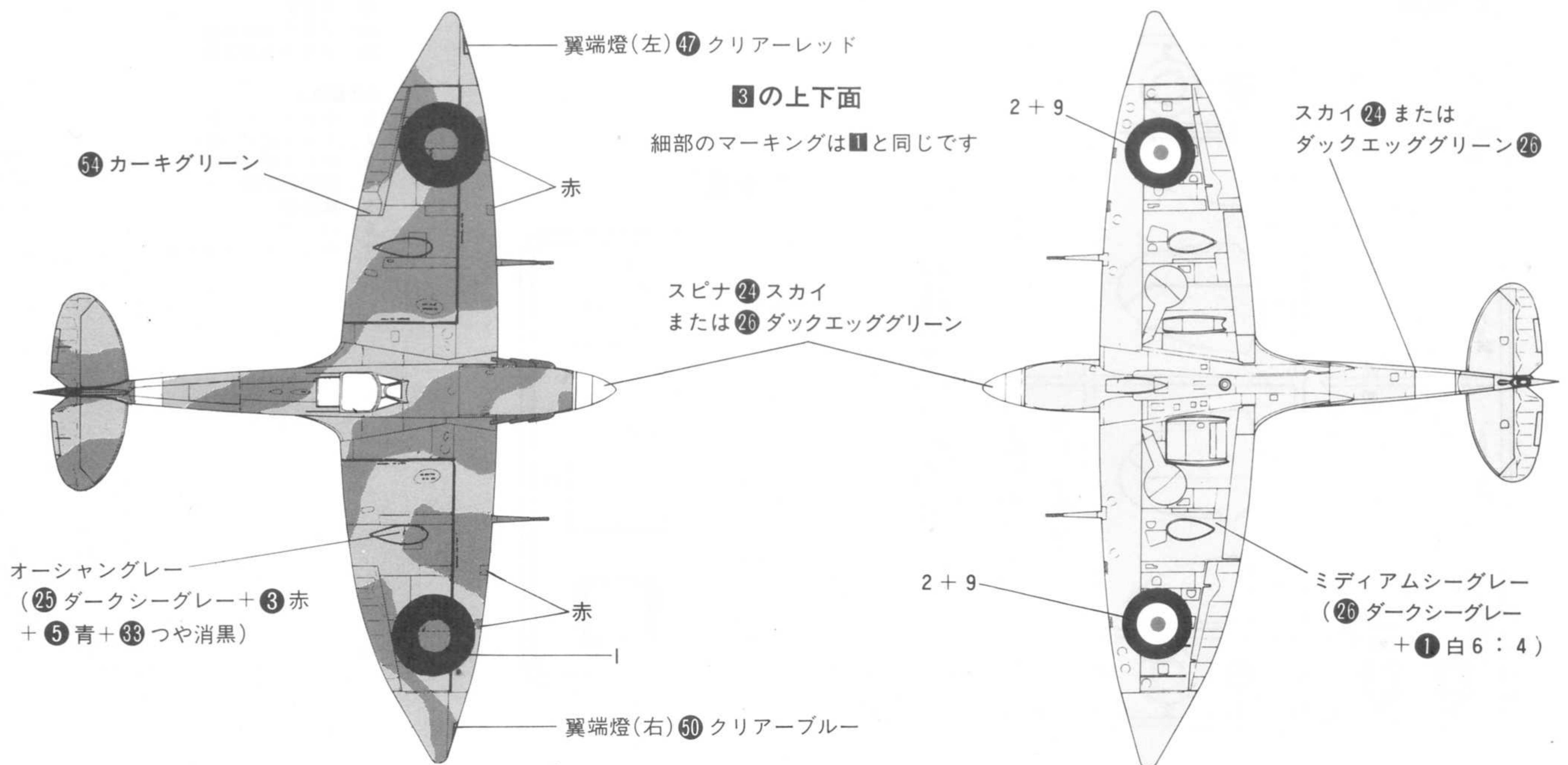
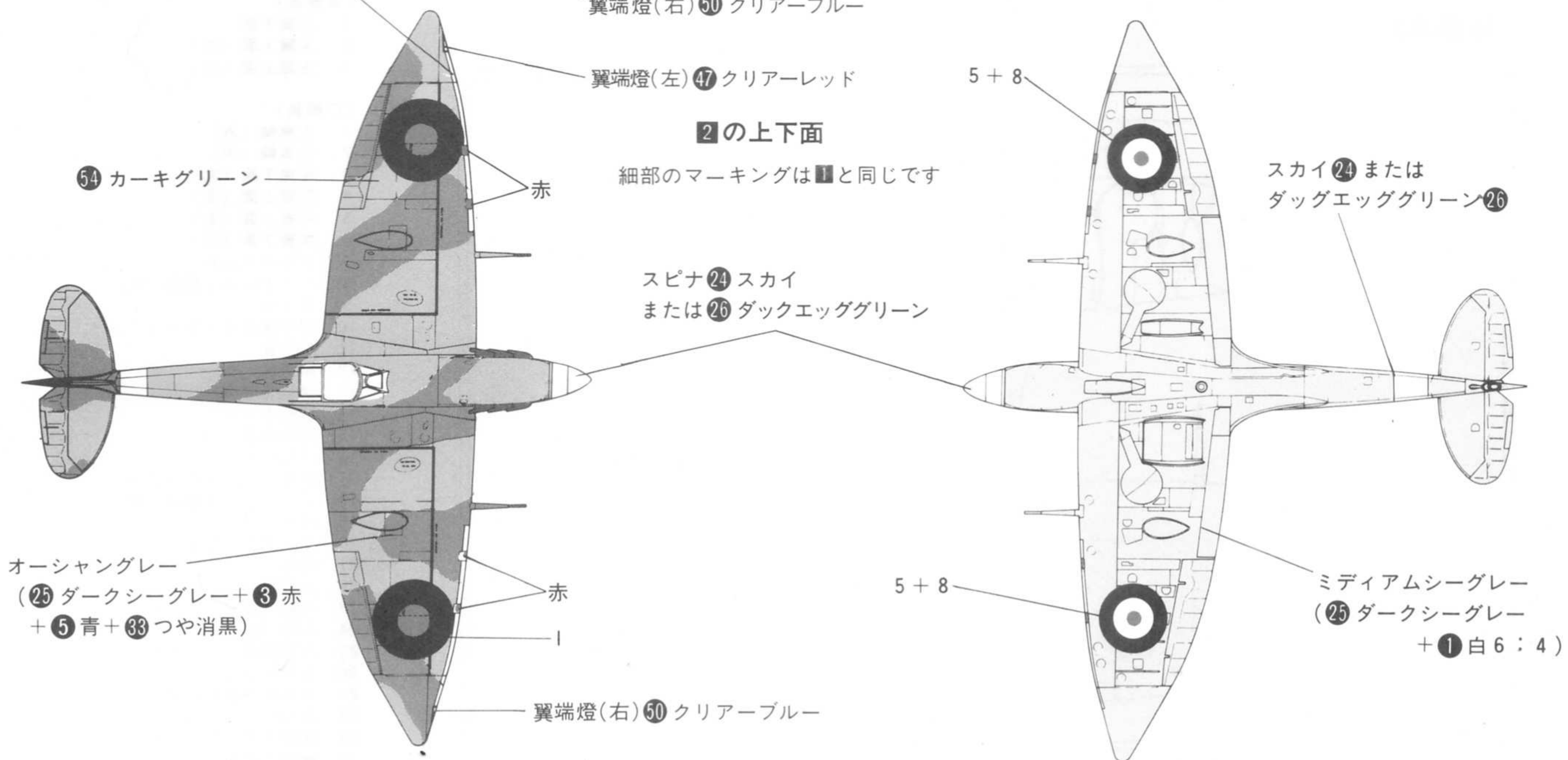
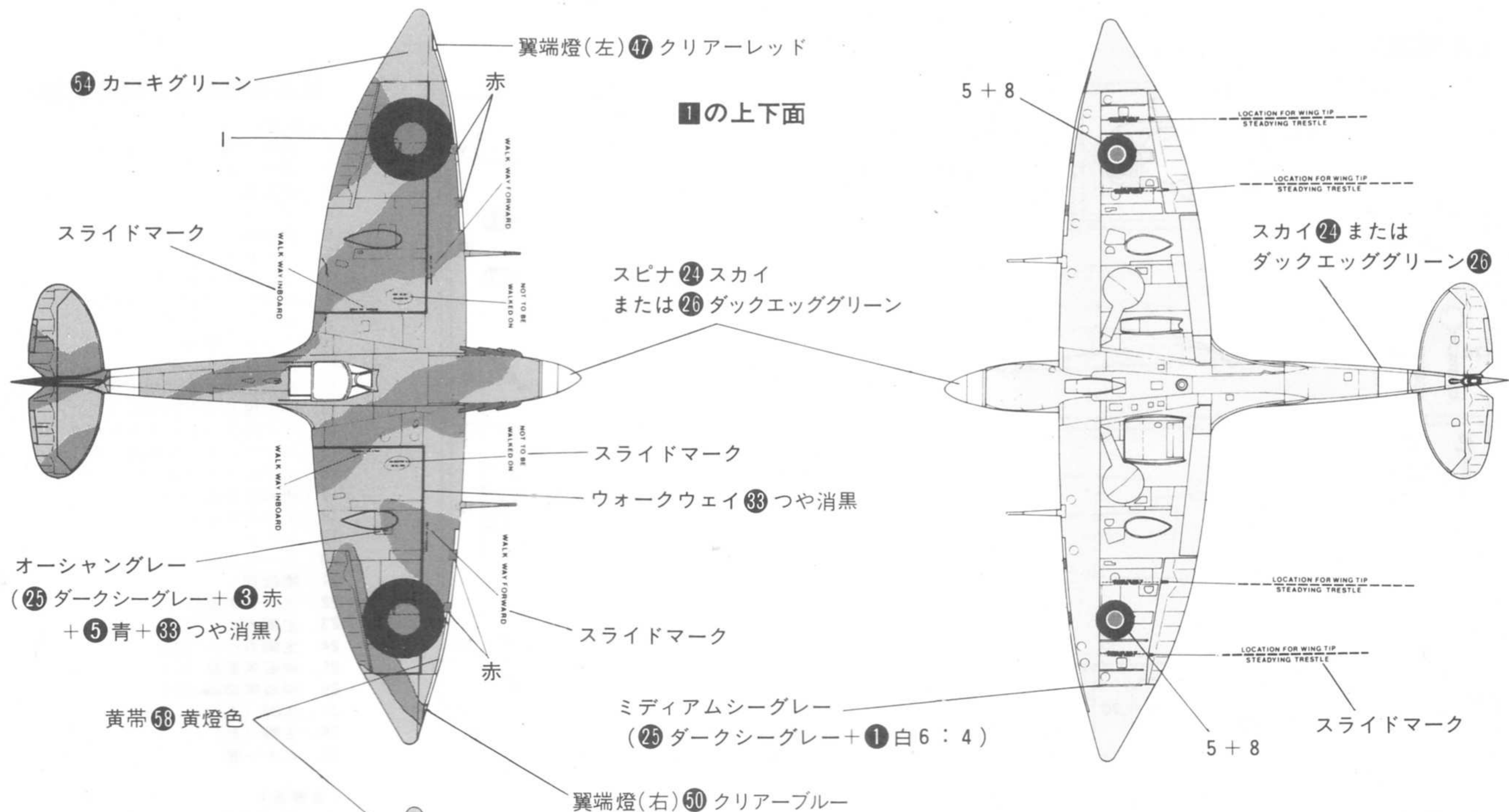
②第616“サウス・ヨークシャー”中隊のエースJE、“ジョニー”ジョンソンの搭乗機



③Mk. VI 量産第2号機 AB200

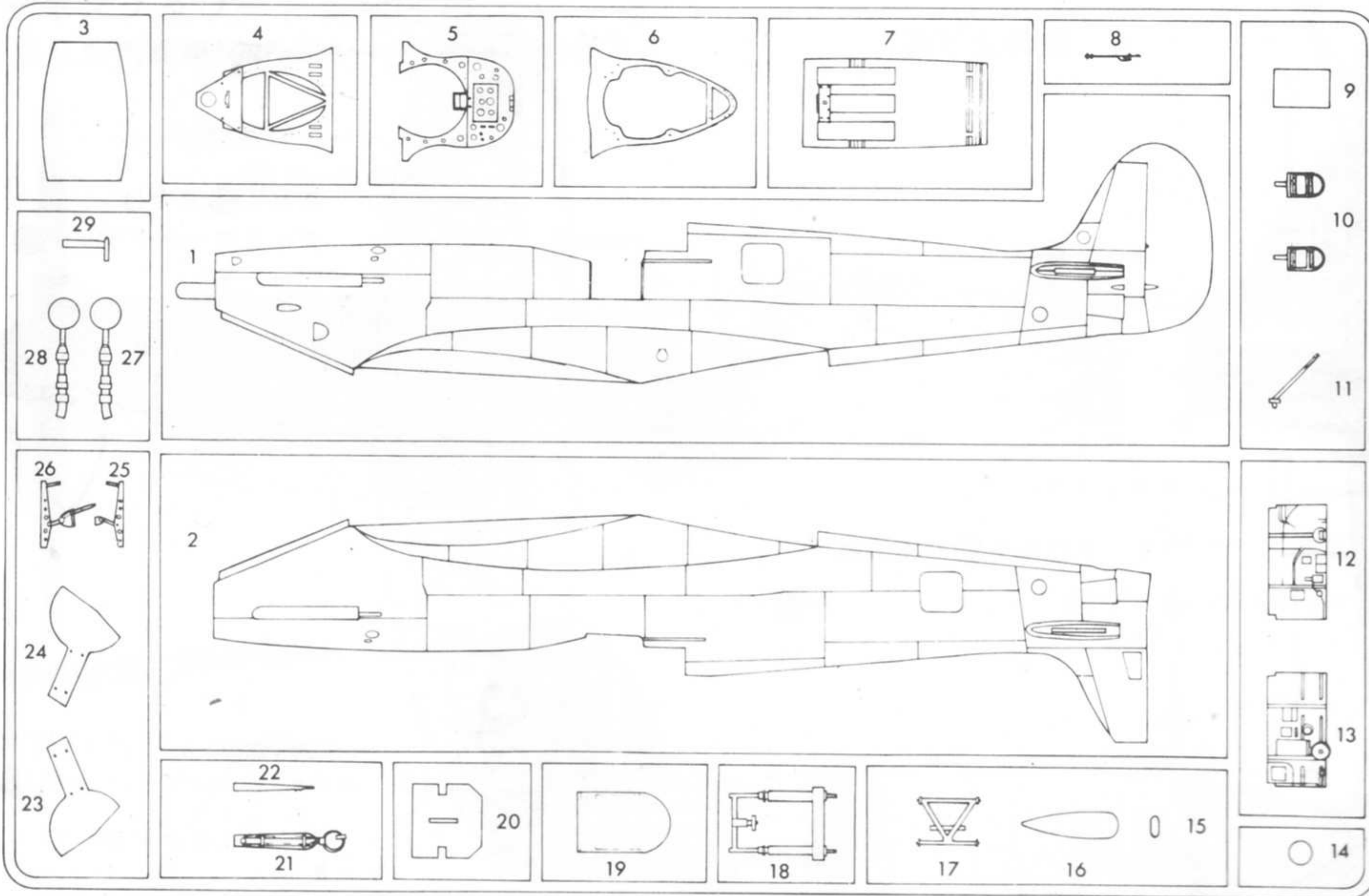








《A 部品》



《部品番号および部品名称》

《A 部品》

1. 胴体 (左)
2. 胴体 (右)
3. 機首部品
4. アーマープレート
5. 計器板
6. バルクヘッド
7. コックピットフロア
8. エスケープドアハンドル
9. エスケープドア
10. フットペダル
11. 操縦席部品 (A)
12. 操縦席サイドパネル (右)
13. 操縦席サイドパネル (左)
14. オイルクーラーインテイク
15. エアインテイク部品 (A)
16. エアインテイク (A)
17. 操縦席部品 (B)
18. トルクチューブ
19. シート
20. シート部品
21. 操縦桿
22. アンテナ支柱
23. 主脚カバー (右)
24. 主脚カバー (左)
25. 操縦席部品 (C)
26. 操縦席部品 (D)
27. 主脚 (左)
28. 主脚 (右)
29. ビトー管

《B 部品》

1. 主翼下面
2. 主翼上面 (左)
3. 主翼上面 (右)

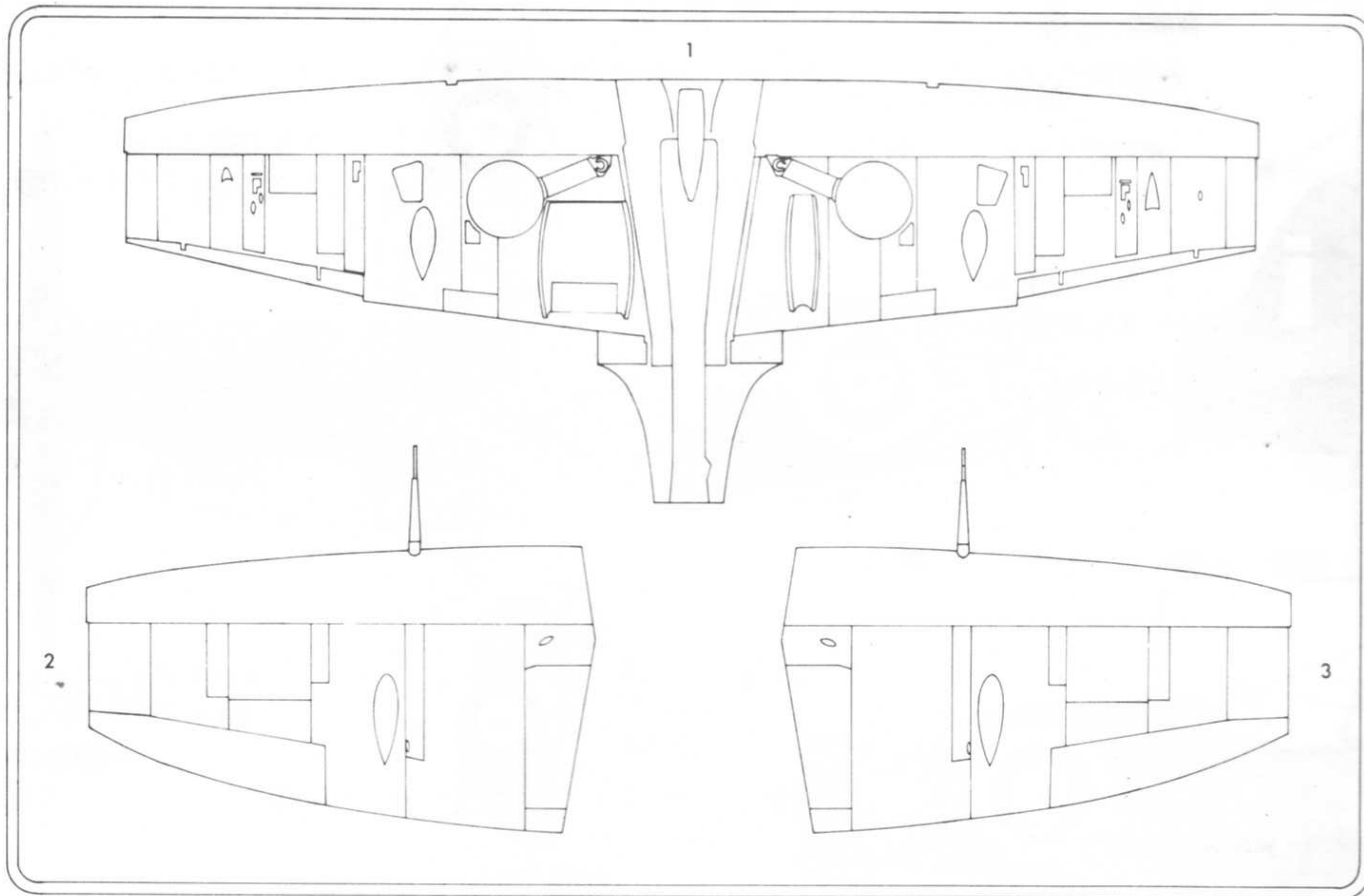
《C 部品》

1. 主車輪 (外)
2. 主車輪 (内)
3. 尾翼下面 (右)
4. 尾翼上面 (左)
5. 尾翼上面 (右)
6. 尾翼下面 (左)
7. プロペラ止め
8. ヘッドレスト部品 (A)
9. ラジオ
10. 信号弾スイッチボックス
11. 排気管
12. 排気管
13. 排気管部品
14. 酸素ポンプ
15. 降着装置レバー
16. スロットルレバー
17. 無線スイッチボックス
18. ヘッドレスト部品 (B)
19. ラダーホーン
20. ラジエーター部品
21. 尾輪
22. 人形部品
23. 人形 (後)
24. 人形 (前)
25. 人形部品
26. エアーシリンダー
27. プロペラブレード
28. カバー
29. 補助エアインテイク
30. 翼端 (左)
31. 翼端 (右)
32. スピナ部品
33. スピナ
34. プロペラボス前
35. プロペラボス後

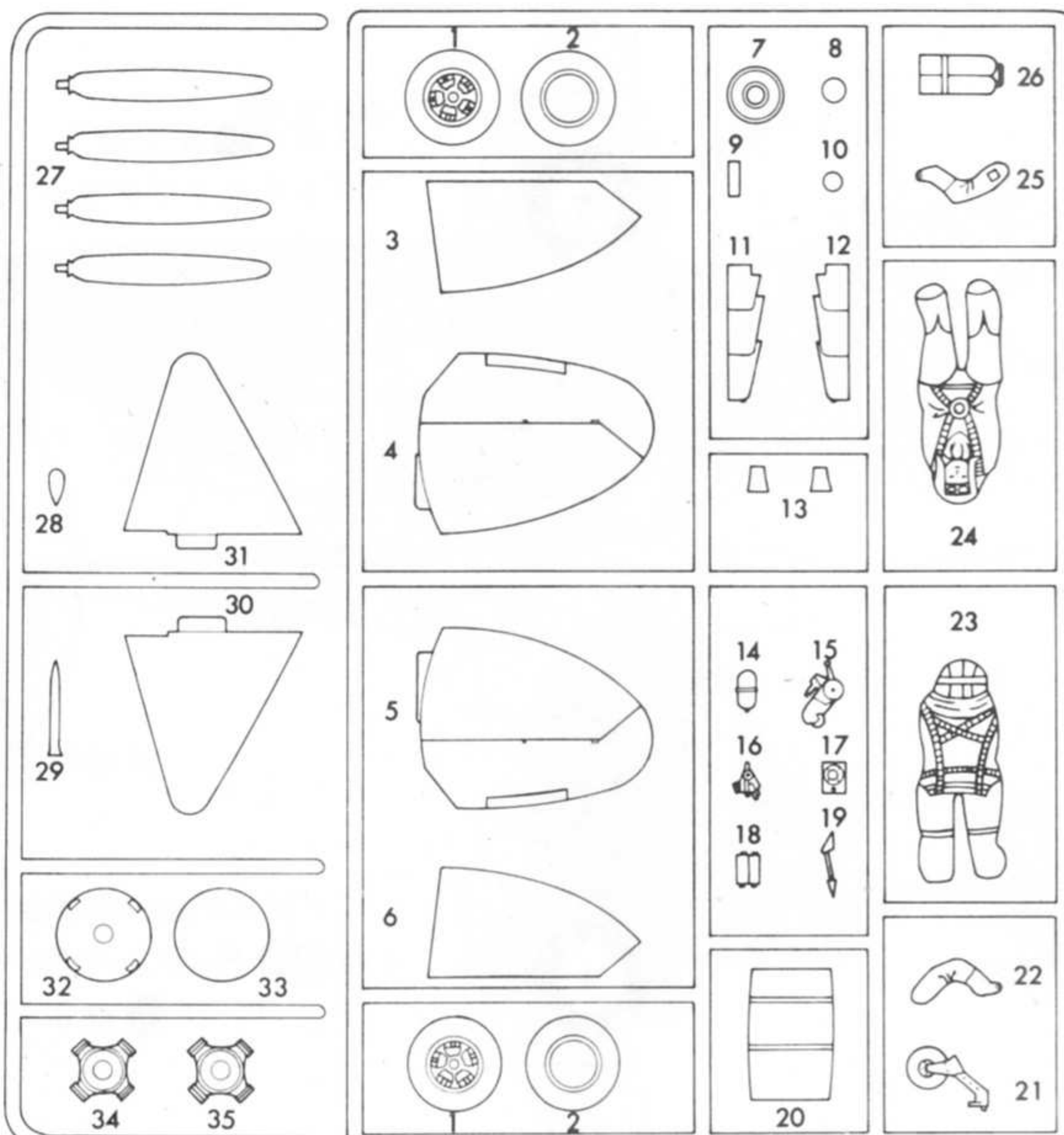
《D 部品》

1. キャノピー (A)
2. キャノピー (B)
3. キャノピー (C)
4. 射撃照準器
5. 編隊燈
6. バックミラー
7. ランディングライト

《B 部品》



《C 部品》



《D 部品》

